

鉄鋼需給の動き

2025 年 3 月

一般社団法人日本鉄鋼連盟

日本経済は今後緩やかな回復が期待されるものの、力強さを欠く状況が継続している。2024年10-12月の実質GDP成長率(基調済前期比、速報値)は、外需の押上げもあり0.6%増(年率換算2.2%増)と3期連続のプラス成長となったが、内需は依然弱さが見られる。需要面では、総消費動向指数(1月)は、7ヵ月連続の前年同月比上昇となった一方で、機械受注(12月)が3ヵ月ぶりの前月比減少、輸出数量指数(1月)が2ヵ月ぶりの前月比低下となった。供給面では、1月の鉱工業生産指数(速報)は、自動車工業が上昇に寄与したものの、生産用機械工業などの低下から1.1%減と3ヵ月連続の前月比低下となり、基調判断も一進一退に据え置かれるなど、低調な状況が継続している。

海外経済について、米国は、通商政策変更による影響の不確実性の高まりが懸念されているなか、個人消費関連には鈍化の兆しが見られているものの、景気の底堅さは維持している。中国は、景気刺激策の効果もあり製造業、インフラ投資など一部で改善が見られるものの、景気回復は足踏みを続けている。なお、米中貿易摩擦の激化への懸念はあるが、2月の製造業PMIは50を上回った。欧州では、欧州中銀が利下げによる景気下支えを図ってはいるものの、製造業の停滞長期化、政情不安などが景気回復の重石となっている。

国内鉄鋼需要産業を見ると、建設業(1月)では新設住宅着工戸数が9ヵ月連続の減少、非住宅着工床面積が7ヵ月連続の減少と、ともに前年割れとなった。製造業では四輪車生産(1月、乗用車・トラック計)が前年低水準の反動から6ヵ月ぶりに増加したものの、生産用機械工業の生産指数(速報、1月)は4ヵ月ぶりに低下した。こうしたなか、国内鉄鋼統計をみると、1月の粗鋼生産(速報、679万トン、前年同月比6.6%減)は11ヵ月連続の減少、普通鋼鋼材生産(速報、469万トン、同5.9%減)は2ヵ月ぶりの減少となった。1月の普通鋼鋼材出荷は、国内向け(284万トン、同1.1%増、9ヵ月ぶり)が増加したものの、輸出向け(166万トン、同7.7%減、3ヵ月ぶり)が減少し、全体(450万トン、同2.4%減)では2ヵ月ぶりの前年同月比減少となった。

海外鉄鋼市場について、1月の世界粗鋼生産は前年同月比4.4%減の1億5,140万トンと4ヵ月ぶりの減少、このうちインドは前年同月比6.8%増の1,360万トンと月間過去最高を更新した。なお、中国(1月は中国当局の公式発表が無いため、worldsteel推計)は8,190万トンと前年同月比では5.6%減となったものの、前月比では増加した。

当面の経済及び鉄鋼需要の下振れリスクとして、米国による通商をはじめとした各種政策の影響、不透明感が拭えないロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢の緊迫化、中国経済低迷の長期化とそれに伴う鉄鋼需給バランスの悪化、物価上昇の影響とそれに伴う実質賃金の伸び悩み、人手不足の影響などが挙げられる。こうしたリスクを踏まえ、引き続き、内外の政治・経済情勢及び鋼材需要の動向を注視する必要がある。

1.経済動向

- ・10-12月期の実質GDP成長率(二次速報)は、季調済前期比0.6%増(年率換算2.2%増)と3期連続のプラス。
- ・1月の完全失業率は前月から横ばいの2.5%。2月の消費者物価上昇率は前月から0.2ポイント低下の3.0%。
- ・1月の小売業販売額は前年同月比3.9%増と35ヵ月連続の増加、同月の総消費動向指数は前年同月比1.2%増と7ヵ月連続の上昇。
- ・2月の乗用車販売は前年同月比19.1%増の32.9万台と2ヵ月連続の増加。普通車、小型車、軽がいずれも増加。
- ・1月の機械受注は前月比3.5%減と2ヵ月連続の減少。基調判断は「持ち直しの動きがみられる」を維持。
- ・1月の鉱工業生産は3ヵ月連続の前月比低下。基調判断は「一進一退」を維持。先行きは、2月は上昇、3月は低下を予測。

2.鉄鋼需要産業動向

(建設部門)

- ・土木:1月の土木工事受注額は、公共土木が前年同月比19.0%減と3ヵ月連続の減少。民間土木は同56.8%増と6ヵ月連続の増加。
- ・建築:1月の新設住宅着工戸数は前年同月比4.6%減と9ヵ月連続の減少。非住宅着工床面積は同23.9%減と7ヵ月連続の減少。

(製造業部門)

- ・自動車:1月の四輪車生産は前年同月比17.9%増の68.2万台と6ヵ月ぶりの増加。
- ・産業機械:1月の生産用機械は前年同月比5.7%減と4ヵ月ぶりの低下、汎用・業務用機械は同0.8%増と13ヵ月ぶりの上昇。
- ・造船:1月の輸出船契約量は前年同月比65.1%増の50.7万G/Tと5ヵ月ぶりの増加。同月末の手持工事量は2,938万G/T。

3.鋼材受注

- ・普通鋼:12月の内需は前年同月比6.0%減の285万トンと7ヵ月連続の減少。24暦年内需は前年比4.6%減の3,341万トンと3年連続の減少。
- ・特殊鋼:12月の内需は前年同月比3.1%減の86万トンと11ヵ月連続の減少。24暦年内需は前年比3.8%減の993万トンと3年連続の減少。

4.鉄鋼需給(生産・出荷・在庫)

- ・粗鋼生産:1月の粗鋼生産は、前年同月比6.6%減の679万トンと11ヵ月連続の減少となった。
- ・鋼材生産:1月の普通鋼鋼材生産は前年同月比5.4%減の471万トンと2ヵ月ぶりの減少。12月の特殊鋼鋼材生産は同4.1%減の119万トンと11ヵ月連続の減少。
- ・出荷:1月の普通鋼鋼材国内向け出荷は前年同月比1.5%増の285万トンと9ヵ月ぶりの増加。12月の特殊鋼鋼材国内向け出荷は同1.9%減の87万トンと12ヵ月連続の減少。
- ・在庫:1月末の普通鋼鋼材国内在庫は497万トンと前月末比2ヵ月ぶりの減少。同月末の特殊鋼鋼材在庫は165万トンと同4ヵ月連続の減少。

5.鋼材輸入、鋼材流通

- ・1月の鋼材輸入は、前年同月比1.2%増の45万トンと5ヵ月連続の増加。

6.鉄鋼輸出

- ・2月の全鉄鋼輸出(速報)は、前年同月比0.5%減の251万トンと2ヵ月連続の減少。

7.海外市場

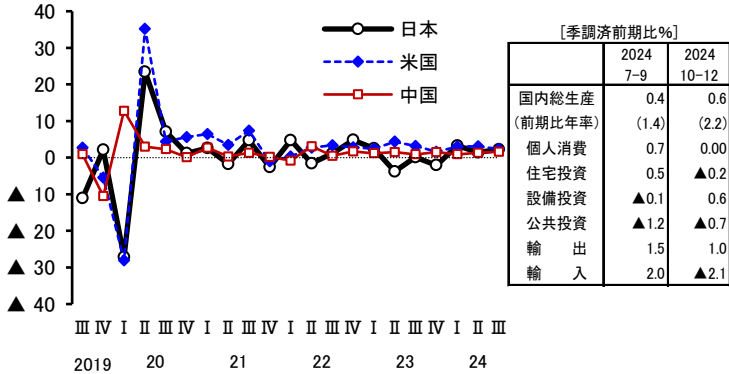
- ・世界粗鋼生産:1月(worldsteel、69ヵ国)の粗鋼生産は前年同月比4.4%減の1億5,140万トンと4ヵ月ぶりの減少。
- ・中国:2025年1-2月(国家統計局)の粗鋼生産は、前年同期比1.5%減の1億6,630万トン(日産量282万トン)。同期の鋼材輸出は前年同期比6.7%増の1,697万トンと20ヵ月連続の前年同月比増加、同期としては2016年の1,785万トン以来の高水準。同期の鋼材輸入は前年同期比7.2%減の105万トンと9ヵ月連続の前年同月比減少、同期としては統計で確認できる1993年以降過去最低。

1. 経済動向 —1月の鉱工業生産は3ヵ月連続の低下、先行きは2月は上昇、3月は低下の見込み—

・10～12月期の実質GDP成長率(二次速報)は、季調済前期比0.6%増と3期連続の増加となった(年率換算2.2%増)。外需寄与度は+0.7pt、内需寄与度は▲0.2ptであった。支出項目別には、個人消費(0.03%増)が3期連続、設備投資(0.6%増)が2期ぶりの増加、住宅投資(0.2%減)が3期ぶり、公共投資(0.7%減)が2期連続の減少となった。輸出入動向では、輸出(1.0%増)が3期連続の増加、輸入(2.1%減)が3期ぶりの減少となった。

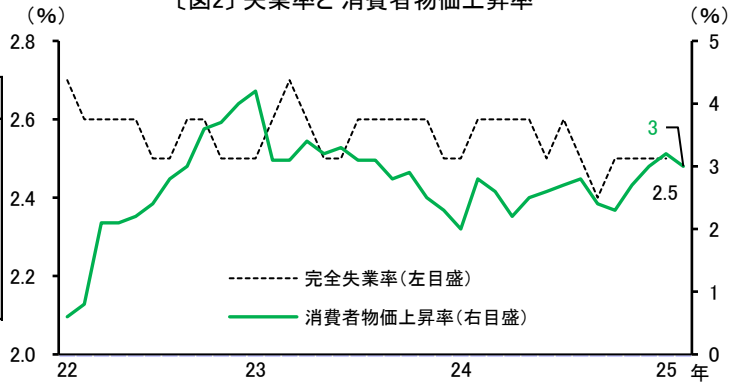
・1月の完全失業率は前月から横ばいの2.5%。
・2月の消費者物価指数上昇率(生鮮食品を除く総合、前年同月比)は前月から0.2ポイント低下の+3.0%。

〔図1〕日本、米国、中国の実質GDP成長率(%)



(出所) 内閣府、米国商務省、中国国家统计局

〔図2〕失業率と消費者物価上昇率

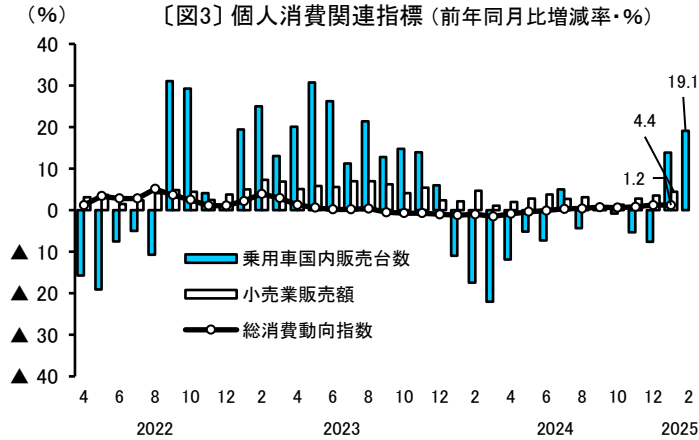


(出所) 総務省

・2月の乗用車販売(除・輸入車)は前年同月比19.1%増と2ヵ月連続の増加。普通車、小型車、軽四輪が2ヵ月連続のプラスとなった。
・1月の小売業販売額は前年同月比3.9%増と35ヵ月連続の増加。
・同月の総消費動向指数(2020年基準、実質)は前年同月比1.2%増と7ヵ月連続のプラスとなった。

・1月の機械受注(船舶・電力を除く民需)は、全体では前月比(季調済。以下、同)3.5%減の8,579億円と2ヵ月連続の減少。内訳は、製造業(1.3%減)は食品製造業、はん用・生産用機械等の減少により2ヵ月連続の減少、非製造業(7.7%増)は卸売業・小売業等の増加により3ヵ月ぶりの増加となった。基調判断は「持ち直しの動きがみられる」を維持した。

〔図3〕個人消費関連指標(前年同月比増減率・%)



(出所) 自販連、経済産業省、総務省

〔図4〕機械受注(船舶・電力を除く民需・季調済)

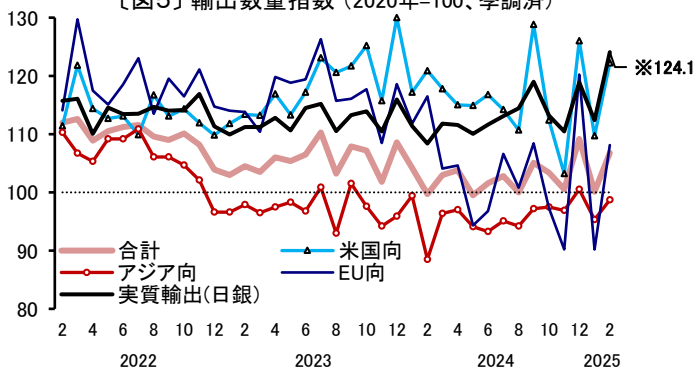


(出所) 内閣府

・1月の輸出数量指数(季調済)は前月比8.3%減と2ヵ月ぶりの低下となった。向け先別では、アジア向け、米国向け、EU向けがともに2ヵ月ぶりの低下となった。
・1月の実質輸出(日銀)は前月比5.5%減と2ヵ月ぶりに低下した。

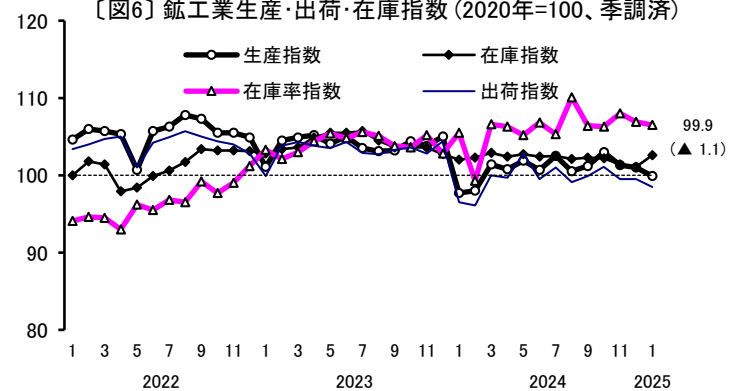
・1月の鉱工業生産は、前月比(季調済。以下、同)1.1%減の99.9と3ヵ月連続で低下した。業種別にみると、生産用機械工業、電子部品・デバイス工業等が低下した。製造工業生産予測調査は、2月は5.0%増、3月は2.0%減と予測。基調判断は「一進一退」を維持。出荷(98.5)は同1.0%減、在庫率(106.5)は0.4%ポイント減と低下、在庫(102.6)は同1.5%増と上昇した。

〔図5〕輸出数量指数(2020年=100、季調済)



(出所) 財務省「貿易統計」を元に日本鉄鋼連盟にて季節調整。
(※)は日銀「実質輸出指数」(2020年=100、季調済)。

〔図6〕鉱工業生産・出荷・在庫指数(2020年=100、季調済)



(出所) 経済産業省

2. 鉄鋼需要産業動向

ー2月の四輪車販売は2ヵ月連続のプラスー

<土木>

〇2月の公共土木工事前払金保証請負金額は前年同月比38.9%減の3,551億円と2ヵ月連続の減少

- ・発注者別には、国の機関(57.0%減・2ヵ月連続)、地方の機関(22.3%減・3ヵ月連続)がともに減少したことから、全体では前年同月比38.9%減の3,551億円と2ヵ月連続の減少となった。

〇1月の公共土木工事受注額は前年同月比19.0%減の6,421億円、3ヵ月連続の減少

- ・治山治水(5.1%増)、下水道公園(37.7%増)が増加したものの、道路(21.2%減)、上工業水道(80.9%減)等が減少し全体では前年同月比19.0%減の6,421億円と3ヵ月連続の減少となった。

〇1月の民間土木工事受注額は前年同月比56.8%増の3,143億円、6ヵ月連続の増加

- ・不動産(27.4%減)が減少したものの、電気ガス(約2.5倍)、運輸通信(36.7%増)等が増加したことから、全体では前年同月比56.8%増の3,143億円と6ヵ月連続の増加となった。

<建築>

〇1月の新設住宅着工戸数は前年同月比4.6%減の5.6万戸と9ヵ月連続の減少

- ・利用関係別には、持家(8.6%減・4ヵ月ぶり)、貸家(1.2%減・2ヵ月ぶり)、分譲(6.0%減・9ヵ月連続)が減少したことから、全体では4.6%減の5.6万戸と9ヵ月連続の減少となった。
- ・季節調整済年率換算着工戸数は77.4万戸となった。

〇1月の非住宅着工床面積は前年同月比23.9%減の249万㎡と7ヵ月連続の減少

- ・用途別では、公益事業(21.8%増)、公務文教(4.2%増)が増加したものの、鉱工業(45.9%減)、商業・サービス(33.3%減)が減少したことから、全体では23.9%減の249万㎡と7ヵ月連続の減少となった。
- ・使途別では、店舗(8.6%増)、倉庫(13.1%増)が増加したものの、事務所(59.1%減)、工場(44.2%減)が減少した。
- ・季節調整済年率換算着工床面積は3,235万㎡となった。

〔表1〕建設関連統計指標

(単位：億円、千戸、%)

	公共土木工事前払金保証請負金額			土木工事受注額		新設住宅着工戸数					年率換算 着工戸数
		国の機関	地方	公共	民間	合計	持家	貸家	分譲	(マンション)	
2022年度	83,679	29,180	54,500	148,026	47,264	860.8	248.1	347.4	259.5	113.9	-
2023年度	86,326	29,977	56,349	144,655	43,710	800.2	219.6	340.4	235.0	100.2	-
2023年10-12月	14,427	2,574	11,853	30,521	9,558	202.6	52.9	85.8	62.5	27.6	799.1
2024年 1- 3月	20,348	8,671	11,677	47,574	13,003	182.3	47.7	77.8	55.6	25.5	785.6
4- 6月	31,040	14,469	16,570	30,974	12,150	208.8	54.3	90.0	62.5	31.4	819.3
7- 9月	22,654	5,381	17,273	38,966	9,696	203.4	58.8	91.5	51.3	21.2	783.2
10-12月	15,240	2,797	12,443	29,346	12,170	197.7	57.3	82.7	55.9	24.3	780.3
2024年 12月	3,922	992	2,930	9,501	4,548	63.0	17.8	26.4	18.2	7.6	787.4
2025年 1月	3,076	855	2,220	6,421	3,143	56.1	13.5	24.4	17.9	9.1	773.9
2月	3,551	1,191	2,360	-	-	-	-	-	-	-	-
2022年度	▲2.1	▲0.3	▲3.0	2.4	8.2	▲0.6	▲11.8	5.0	4.5	10.8	-
2023年度	3.2	2.7	3.4	▲2.3	▲7.5	▲7.0	▲11.5	▲2.0	▲9.4	▲12.0	-
2023年10-12月	4.2	▲2.9	5.9	▲2.9	▲11.0	▲6.3	▲16.2	▲3.3	▲0.3	8.1	0.3
2024年 1- 3月	7.7	7.0	8.3	1.0	▲12.5	▲9.6	▲9.0	▲4.3	▲16.9	▲23.1	▲1.7
4- 6月	6.9	9.5	4.8	5.7	9.3	0.5	▲6.0	2.9	2.2	24.0	4.3
7- 9月	0.6	▲2.5	1.6	4.6	▲3.4	▲2.0	▲3.9	2.5	▲8.1	▲2.8	▲4.4
10-12月	5.6	8.6	5.0	▲3.8	27.3	▲2.4	8.3	▲3.7	▲10.5	▲11.9	▲0.4
2024年 12月	6.5	41.0	▲1.7	▲9.2	29.2	▲2.5	4.6	2.1	▲14.7	▲22.3	1.6
2025年 1月	▲7.7	▲2.2	▲9.7	▲19.0	56.8	▲4.6	▲8.6	▲1.2	▲6.0	0.3	▲1.7
2月	▲38.9	▲57.0	▲22.3	-	-	-	-	-	-	-	-
4月からの累計	75,561	24,693	50,867	105,707	37,158	666.0	183.9	288.6	187.7	86.0	-
前年同期	75,118	24,950	50,168	105,003	32,712	676.7	186.7	287.3	198.5	83.8	-
増減量	442	▲257	699	704	4,446	▲10.8	▲2.8	1.4	▲10.9	2.2	-
前年同期比	0.6	▲1.0	1.4	0.7	13.6	▲1.6	▲1.5	0.5	▲5.5	2.6	-

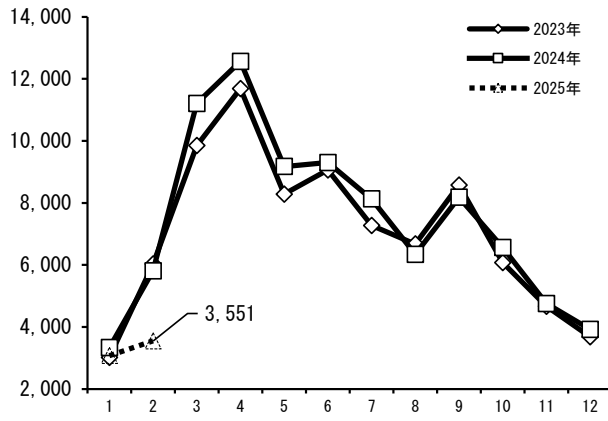
(出所) 保証事業協会、国土交通省

(注) 1. 土木工事受注額の公共土木は公共工事計から教育病院・住宅宿舍・庁舎その他を除いたもの。

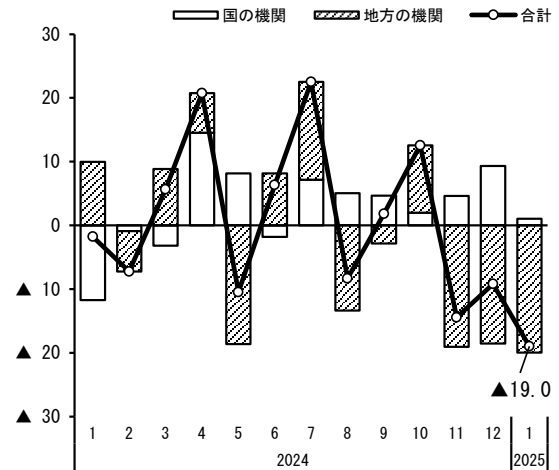
2. 年率換算着工戸数は前月(期)比増減率。

3. 土木工事受注額は、2021年4月より推計方法が変更されたため、それ以前とは接続しない。

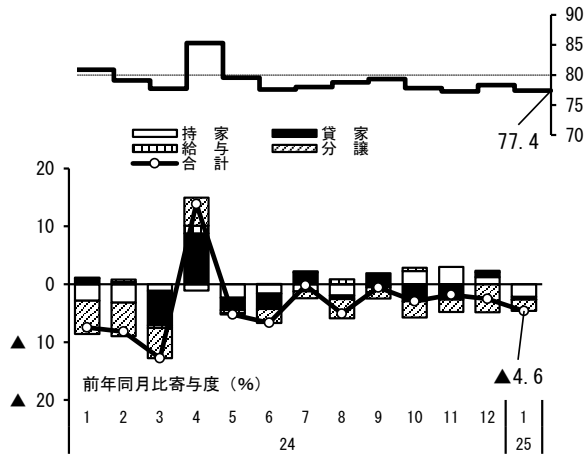
〔図 7〕 公共土木工事前払金保証請負金額（億円）



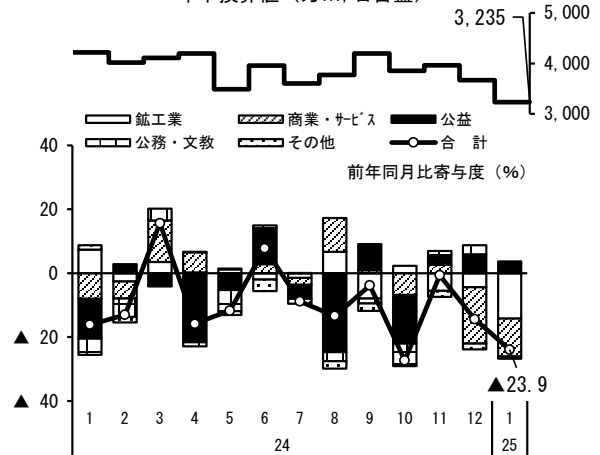
〔図 8〕 公共土木工事受注額（前年同月比寄与度・％）



〔図 9〕 新設住宅着工戸数
年率換算値（万戸、右目盛）



〔図 10〕 非住宅用途別着工床面積
年率換算値（万㎡、右目盛）



〔表 1〕 建設関連統計指標（続）

（単位：万㎡、％）

	建築着工床面積計	居住用	非居住用	用途別								鋼構造建築着工床面積		
				用途別				使 途 別				SRC	RC	S
				(鉱工業)	(商業・サービス)	(公益事業)	(公務文教)	(事務所)	(店舗)	(工場)	(倉庫)			
2022年度	11,872	7,182	4,690	1,092	1,339	1,098	912	600	427	874	1,281	238	2,458	4,197
2023年度	10,831	6,552	4,279	957	1,292	1,019	805	621	363	728	1,184	153	2,260	3,834
2023年 10-12月	2,808	1,687	1,122	226	365	277	209	173	101	176	328	32	629	1,000
2024年 1-3月	2,399	1,437	962	254	310	192	165	194	75	181	221	20	459	932
4-6月	2,727	1,695	1,031	239	350	207	195	138	114	190	238	39	583	970
7-9月	2,592	1,610	983	227	341	185	195	137	97	193	236	28	458	923
10-12月	2,556	1,612	944	204	281	236	193	120	80	159	269	61	470	855
2024年 11月	844	529	315	66	92	85	64	33	25	48	99	20	149	283
12月	803	510	293	61	82	77	64	33	31	51	82	7	149	276
2025年 1月	698	449	249	55	78	56	49	35	30	40	65	16	143	250
2022年度	▲3.1	▲3.5	▲2.4	15.1	▲13.2	0.3	▲1.8	▲20.9	1.9	20.7	▲4.3	21.0	15.4	▲7.9
2023年度	▲8.8	▲8.8	▲8.8	▲12.3	▲3.5	▲7.2	▲11.8	3.4	▲15.0	▲16.8	▲7.6	▲35.5	▲8.1	▲8.7
2023年 10-12月	▲1.2	▲6.0	6.8	▲9.8	16.5	52.6	▲15.4	28.0	▲0.5	▲12.3	51.0	▲37.8	23.6	▲1.0
2024年 1-3月	▲10.8	▲13.5	▲6.4	13.0	▲4.3	▲20.2	▲15.4	34.9	▲27.9	1.1	▲22.6	▲70.8	▲28.8	2.5
4-6月	▲4.2	▲1.8	▲8.0	▲0.5	12.8	▲29.1	▲11.6	6.8	26.0	▲3.3	▲30.2	▲27.1	▲5.5	▲0.9
7-9月	▲6.7	▲5.4	▲8.6	▲4.4	10.7	▲28.4	▲7.3	9.7	1.3	10.8	▲19.6	▲41.1	▲17.5	▲0.2
10-12月	▲9.0	▲4.4	▲15.8	▲9.7	▲22.9	▲14.6	▲7.6	▲30.4	▲20.4	▲9.6	▲18.2	88.7	▲25.2	▲14.4
2024年 11月	▲0.9	▲1.0	▲0.6	▲21.1	10.0	12.8	7.0	▲14.0	▲13.5	▲25.6	11.8	154.2	▲16.0	2.1
12月	▲7.8	▲3.6	▲14.3	▲19.8	▲42.5	36.0	18.0	▲63.4	4.2	▲8.1	16.8	▲18.8	▲16.6	▲13.8
2025年 1月	▲12.2	▲4.1	▲23.9	▲45.9	▲33.3	21.8	4.2	▲59.1	8.6	▲44.2	13.1	153.2	▲10.3	▲21.4
4月からの累計	8,573	5,366	3,207	724	1,049	684	632	430	321	582	808	144	1,654	2,997
前年同期	9,228	5,583	3,645	804	1,099	873	687	513	315	618	1,021	140	1,961	3,219
増 減 量	▲655	▲217	▲437	▲80	▲50	▲189	▲55	▲83	7	▲36	▲213	4	▲306	▲222
前年同期比	▲7.1	▲3.9	▲12.0	▲10.0	▲4.5	▲21.6	▲8.0	▲16.1	2.1	▲5.9	▲20.8	3.1	▲15.6	▲6.9

（注）2025年1月から産業用建築物の用途分類における中区分が廃止されたことに伴い、用途別内訳の構成を過去に遡り変更した。

＜自動車＞－1月の四輪車生産(四輪車計)は6ヵ月ぶりのプラス

○2月の国内販売(輸入車除く)は前年同月比19.3%増の38.3万台と2ヵ月連続のプラス

- ・2月の国内販売(輸入車除く)は、乗用車(19.1%増)は、普通車、小型車、軽四輪がいずれも2ヵ月連続のプラスとなったことから、全体でも2ヵ月連続の増加となった。トラック(21.0%増)は、普通車が6ヵ月連続、小型車が7ヵ月ぶり、軽四輪が2ヵ月連続のプラスとなり、全体では4ヵ月ぶりの増加となった。バス(8.4%増)は、4ヵ月ぶりのプラス。四輪車計(輸入車除く)では、前年同月比19.3%増の38.3万台と2ヵ月連続のプラスとなった。

○1月の完成車輸出は前年同月比1.8%増の30.1万台と9ヵ月ぶりのプラス

- ・1月の完成車輸出は、欧州向け(31.4%減)、オセアニア向け(1.0%減)が減少したものの、アジア向け(10.6%増)、中近東向け(26.1%増)、北米向け(8.9%増)が増加したことから、全体では前年同月比1.8%増の30.1万台と9ヵ月ぶりのプラスとなった。
- ・2月の米国新車販売は、前年同月比1.0%減の122.6万台と5ヵ月ぶりのマイナス。季調済・年率換算では1,600万台となった。また、同月の中国新車販売(中国汽車工業協会発表)は、前年同月比34.4%増の213万台と2ヵ月ぶりのプラスとなった。

○1月の四輪車生産(四輪車計)は前年同月比17.9%増の68.2万台と6ヵ月ぶりのプラス

- ・1月の生産について、乗用車(17.1%増)は、普通車が3ヵ月ぶり、小型車が6ヵ月ぶり、軽が2ヵ月連続のプラスとなり、全体では6ヵ月ぶりに増加した。トラック(22.5%増)は、普通車が3ヵ月ぶり、小型車、軽が6ヵ月ぶりのプラスとなったことから、全体では6ヵ月ぶりに増加した。四輪車計では前年同月比17.9%増の68.2万台と6ヵ月ぶりのプラスとなった。

〔表2〕四輪車国内販売台数

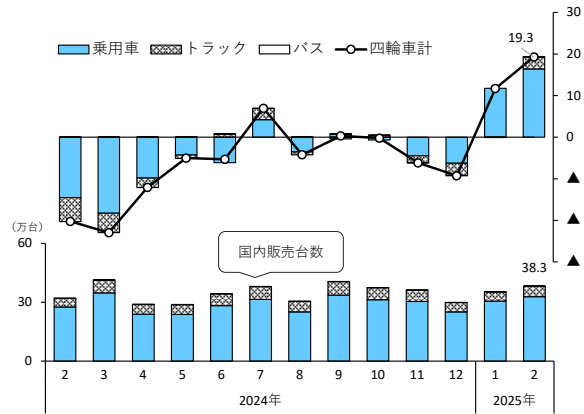
(単位：千台、%)

	四輪車計	国産車販売									輸 入	国 内 販売計
		乗用車	普通車	小型車	軽四輪	トラック	普通車	小型車	軽四輪	バ ス		
2022年度	4,078	3,338	1,203	862	1,272	734	114	200	420	6	308	4,386
2023年度	4,217	3,525	1,464	801	1,260	683	129	188	366	9	311	4,529
2023年10-12月	1,091	908	358	210	340	181	30	50	101	2	80	1,172
2024年 1- 3月	1,051	893	407	183	303	155	33	41	81	3	80	1,131
4- 6月	922	761	325	173	263	159	31	44	83	2	74	996
7- 9月	1,091	902	363	213	326	187	36	50	100	3	81	1,172
10-12月	1,036	868	366	192	310	166	35	40	92	2	85	1,122
2024年 12月	299	251	103	51	96	48	12	12	23	1	31	330
2025年 1月	354	306	126	68	112	47	9	11	26	1	23	376
2月	383	329	133	76	120	53	11	16	26	1	26	409
2022年度	4.8	5.2	10.2	▲4.0	7.7	3.1	▲15.8	▲1.5	12.4	▲3.9	▲5.4	4.0
2023年度	3.4	5.6	21.8	▲7.1	▲1.0	▲7.0	13.5	▲6.0	▲13.0	49.7	1.2	3.3
2023年10-12月	9.3	11.7	34.5	▲3.9	3.6	▲1.7	14.1	4.9	▲8.4	66.9	▲2.4	8.4
2024年 1- 3月	▲19.2	▲17.5	▲5.9	▲31.2	▲21.2	▲28.2	▲6.3	▲33.6	▲31.9	19.8	▲0.1	▲18.1
4- 6月	▲7.5	▲8.2	▲3.6	▲12.2	▲10.7	▲4.5	5.9	▲7.6	▲6.2	52.9	2.1	▲6.8
7- 9月	1.2	0.7	0.3	0.9	1.2	3.0	1.8	0.2	5.0	26.8	3.7	1.3
10-12月	▲5.0	▲4.4	2.1	▲8.6	▲8.8	▲8.0	15.2	▲19.9	▲9.1	▲9.6	6.3	▲4.3
2024年 12月	▲9.3	▲7.6	▲2.3	▲20.1	▲5.1	▲17.0	8.7	▲26.6	▲21.5	▲23.0	▲7.6	▲9.1
2025年 1月	11.7	13.8	5.3	20.5	20.9	▲0.3	12.4	▲10.2	0.5	▲6.9	23.7	12.4
2月	19.3	19.1	6.7	35.6	25.5	21.0	8.1	38.0	18.4	8.4	10.8	18.7
4月からの累計	3,786	3,166	1,313	722	1,131	611	123	161	327	9	290	4,076
前年同期	3,804	3,178	1,302	731	1,144	619	114	171	333	8	273	4,077
増 減 量	▲18	▲12	11	▲9	▲14	▲7	9	▲10	▲6	1	16	▲1
前年同期比	▲0.5	▲0.4	0.9	▲1.2	▲1.2	▲1.2	7.7	▲6.1	▲1.7	14.9	6.0	0.0

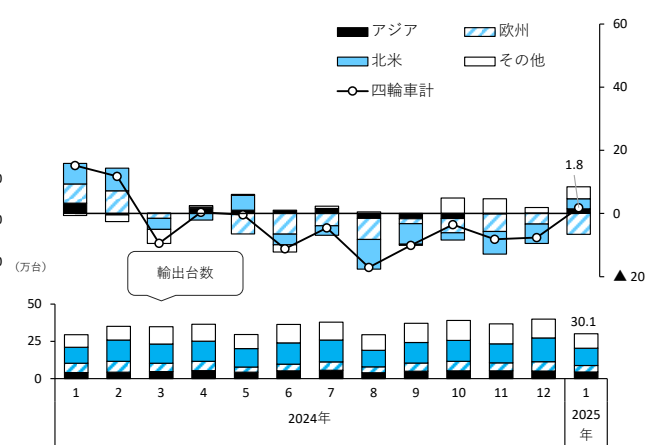
(出所) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合

(注) 車種区分は、登録者は03年1月実績より、軽自動車は04年1月実績より、それぞれ従来のシャシーベースからナンバーベースへ変更された。

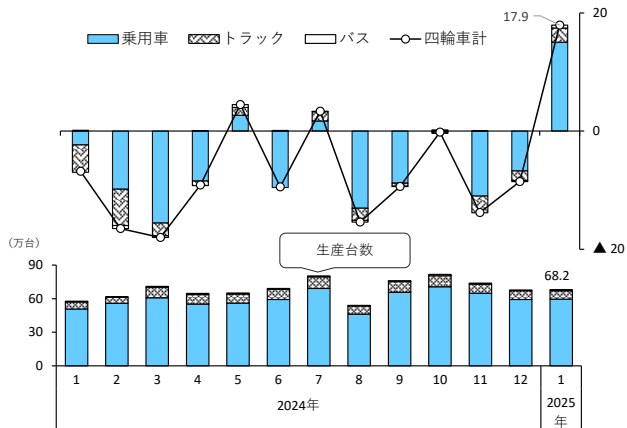
〔図11〕国産車販売台数、前年同月比寄与度(%)



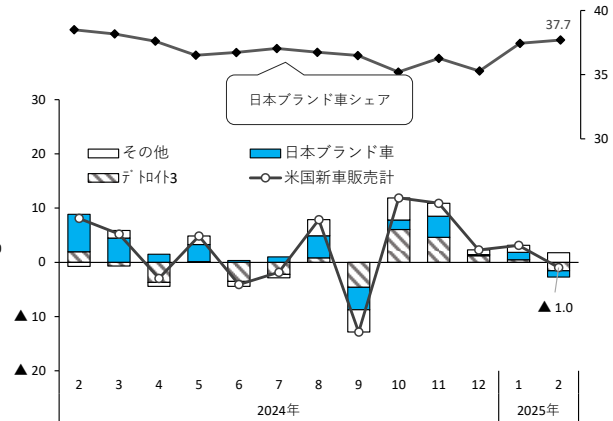
〔図12〕四輪車輸出台数、前年同月比寄与度(%)



〔図13〕四輪車生産台数、前年同月比寄与度(%)



〔図14〕米国新車販売台数、前年同月比寄与度(%)



〔表3〕四輪車仕向地別輸出・生産台数

(単位：千台、%)

	輸 出								生 産				米国新車 販売台数
	合 計	アジア	中近東	欧州	(EU)	北 米	(米国)	オセアニア	四輪車計	乗用車+ トラック	乗用車	トラック	
2022年度	3,864	577	464	592	404	1,438	1,283	409	8,101	8,011	6,815	1,196	14,482
2023年度	4,462	582	467	807	578	1,745	1,501	474	8,678	8,580	7,545	1,035	14,120
2023年10-12月	1,236	163	122	233	169	493	426	125	2,417	2,390	2,094	295	3,922
2024年 1- 3月	994	132	108	192	139	378	319	105	1,905	1,885	1,675	210	3,770
4- 6月	1,024	150	123	143	97	400	338	117	1,989	1,962	1,705	256	4,089
7- 9月	1,043	146	137	150	108	394	339	116	2,107	2,081	1,811	271	3,895
10-12月	1,156	156	158	179	118	428	373	136	2,234	2,206	1,949	257	4,235
2024年 11月	367	53	53	53	33	128	112	49	739	729	649	80	1,381
12月	400	51	51	62	42	159	140	42	678	671	592	79	1,504
2025年 1月	301	45	40	43	27	117	97	30	682	671	595	76	1,112
2022年度	4.9	▲2.0	39.9	8.9	41.8	▲0.3	▲0.4	▲4.7	7.4	7.2	7.5	5.8	▲3.5
2023年度	15.5	0.9	0.6	36.3	43.2	21.3	17.0	15.9	7.1	7.1	10.7	▲13.5	▲2.5
2023年10-12月	16.5	19.0	▲6.8	36.0	42.8	24.2	18.0	12.7	11.9	11.9	15.6	▲8.9	8.5
2024年 1- 3月	4.2	5.9	▲17.4	20.3	27.2	7.2	5.0	5.5	▲14.4	▲14.3	▲11.7	▲30.6	5.3
4- 6月	▲4.2	9.9	6.7	▲23.8	▲27.5	▲1.8	▲3.9	▲4.6	▲5.2	▲5.4	▲6.4	1.3	▲0.7
7- 9月	▲10.3	▲4.0	12.6	▲23.2	▲20.3	▲15.4	▲16.1	▲5.5	▲6.7	▲6.7	▲7.4	▲1.8	▲2.3
10-12月	▲6.5	▲3.9	29.3	▲23.5	▲29.8	▲13.1	▲12.5	9.4	▲7.6	▲7.7	▲6.9	▲12.9	8.0
2024年 11月	▲8.2	▲1.2	32.0	▲29.6	▲39.7	▲18.2	▲16.5	22.8	▲13.8	▲14.0	▲12.7	▲23.2	10.9
12月	▲7.6	1.2	18.7	▲18.8	▲21.5	▲14.3	▲12.3	▲1.3	▲8.6	▲8.5	▲7.8	▲13.3	2.3
2025年 1月	1.8	10.6	26.1	▲31.4	▲42.3	8.9	8.8	▲1.0	17.9	17.7	17.1	22.5	3.1
4月からの累計	3,524	497	458	514	351	1,340	1,147	399	7,011	6,919	6,060	860	13,331
前年同期	3,764	492	391	678	485	1,475	1,271	400	7,351	7,264	6,379	886	13,108
増 減 量	▲240	5	67	▲164	▲134	▲134	▲124	▲1	▲340	▲345	▲319	▲26	223
前年同期比	▲6.4	1.1	17.2	▲24.2	▲27.7	▲9.1	▲9.8	▲0.2	▲4.6	▲4.7	▲5.0	▲2.9	1.7

(出所) 日本自動車工業会、ウォード自動車情報社

(注) 四輪車生産台数の累計値は年初から最新月までの合計である。

<産業機械>

○1月の受注は前年同月比8.1%増と2ヵ月ぶりの増加

- ・ 民需(6.3%増・2ヵ月ぶり)、官公需(約2倍・3ヵ月ぶり)、外需(1.2%増・3ヵ月連続)がいずれも増加した。外需では、風水力(21.5%減・2ヵ月連続)、農林機械(20.9%減・8ヵ月連続)が減少した一方、運搬機械(18.3%増・3ヵ月連続)、繊維機械(64.3%増・2ヵ月連続)が増加した。

○1月の生産用機械工業の生産は前年同月比5.7%減と4ヵ月ぶりの低下。また、汎用・業務用機械工業の生産は同0.8%増と13ヵ月ぶりの上昇。

- ・ 生産用機械工業の生産を機種別にみると、化学機械(15.6%増・2ヵ月連続)、金属加工・工作機械(3.9%増・18ヵ月ぶり)が上昇したものの、農業用機械(24.4%減・12ヵ月連続)、建設・鉱山機械(21.2%減・12ヵ月連続)が低下したことから、全体では前年同月比5.7%減と4ヵ月ぶりの低下となった。
- ・ 汎用・業務用機械工業の生産を機種別にみると、ボイラ・原動機(6.6%減・8ヵ月連続)、運搬装置(24.7%減・4ヵ月連続)が低下したものの、冷凍機・温湿調整装置(4.8%増・2ヵ月連続)が上昇したことから、全体では前年同月比0.8%増と13ヵ月ぶりの上昇となった。

<電気機械>

○1月の生産は、前年同月比0.9%増と2ヵ月連続の上昇

- ・ 重電機は、前年同月比7.0%増と6ヵ月ぶりの上昇となった。品目別には、静止電機(15.2%減・11ヵ月連続)が低下したものの、回転電機(6.5%増、6ヵ月ぶり)、開閉制御装置(19.7%増、5ヵ月連続)が上昇した。
- ・ 家庭用電気機器は、民生用電機(2.2%増・3ヵ月ぶり)が上昇したものの、民生用電子(20.6%減・2ヵ月連続)が低下したことから、全体では前年同月比7.1%減と3ヵ月連続の低下となった。

<造船>1月の手持工事量は前月末比1.5%減の2,938万G/Tと2ヵ月ぶりの減少

- ・ 1月の起工量は前年同月比25.3%増の84.3万G/Tと3ヵ月ぶりの増加となった。
- ・ 1月の輸出船契約量は前年同月比65.1%増の50.7万G/Tと5ヵ月ぶりの増加となった。
- ・ 1月末の手持工事量は前月末比1.5%減の2,938万G/Tと2ヵ月ぶりの減少となった。

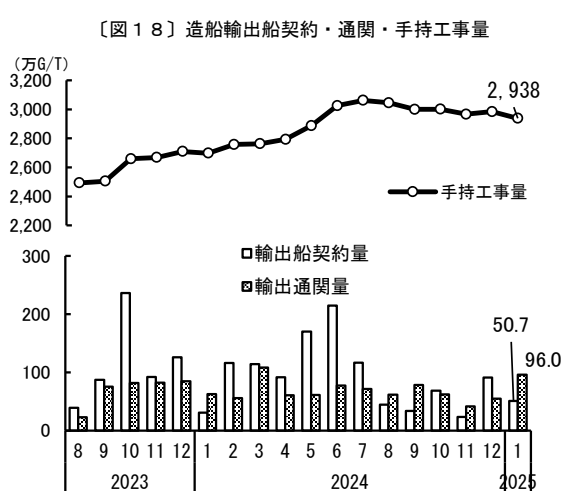
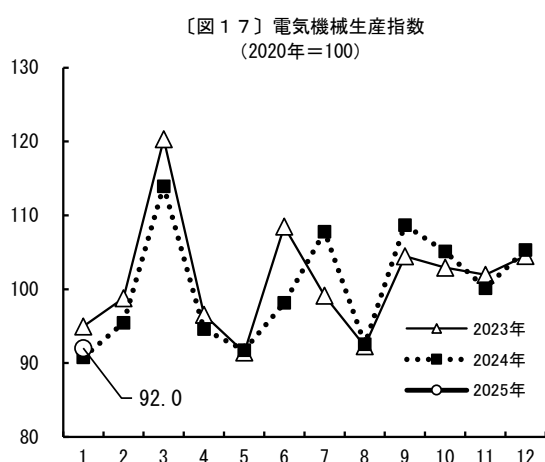
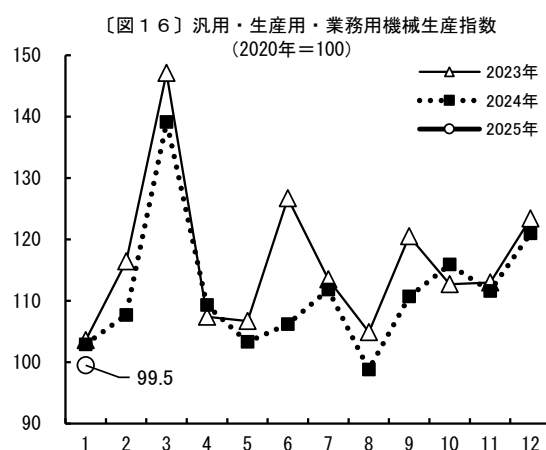
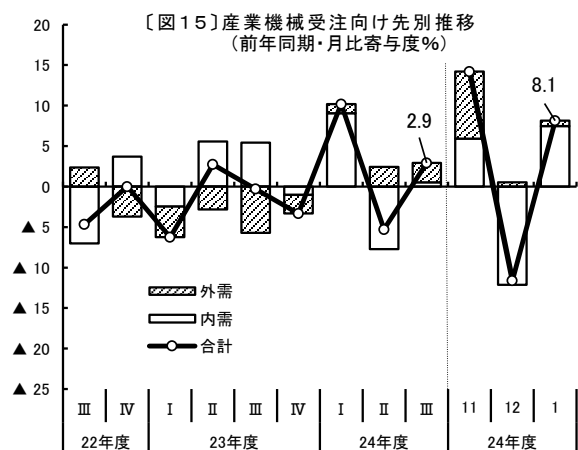
〔表4〕 産 業 機 械 活 動 水 準

(単位:億円、IIP<20年=100>、%)

	受 注 額				IIP								
	合 計	民 需	官公需	外 需	生産用 機械工業	農業用 機械	建設・鉱山 機械	化学機械	金属加工 工作機械	汎用・業務用 機械工業	ボイラ・ 原動機	運搬装置	冷凍機・温湿 調整装置
2022年度	141,625	57,065	8,376	71,068	132.7	108.4	126.6	103.3	142.8	114.5	119.9	101.8	111.9
2023年度	139,087	58,829	9,175	65,946	119.0	92.2	131.1	91.3	131.8	110.0	108.4	108.3	109.4
2023年10-12月	33,778	14,213	1,874	16,307	117.7	80.7	135.3	96.0	133.5	114.9	124.7	118.0	116.1
2024年 1- 3月	36,118	15,459	2,776	16,638	122.7	88.2	123.5	97.8	119.2	108.1	102.4	122.6	108.0
4- 6月	35,973	15,600	2,348	16,714	113.2	78.7	117.8	85.1	106.3	99.2	84.3	81.2	113.7
7- 9月	34,615	13,112	2,532	17,554	111.1	63.5	102.5	103.1	112.2	102.2	93.9	89.1	110.0
10-12月	34,768	14,467	1,684	17,116	126.5	60.0	103.5	104.5	121.2	108.4	95.7	92.1	115.3
2024年 11月	10,952	4,285	520	5,557	119.3	56.7	99.5	79.0	120.9	106.5	91.6	92.5	117.1
12月	12,168	4,676	632	6,375	133.2	62.5	94.4	123.3	123.4	110.9	105.9	97.9	106.7
2025年 1月	10,517	3,803	904	5,396	101.5	60.3	92.7	80.8	115.8	97.5	72.4	86.5	99.1
2022年度	4.4	1.9	4.9	6.7	6.4	▲10.8	1.4	16.3	15.6	1.4	7.2	▲2.1	▲0.7
2023年度	▲1.8	3.1	9.5	▲7.2	▲10.3	▲15.0	3.5	▲11.6	▲7.7	▲3.9	▲9.6	6.4	▲2.2
2023年10-12月	▲0.3	13.2	8.1	▲10.6	▲12.7	▲26.8	▲5.3	▲9.4	▲7.2	▲1.6	10.9	8.8	2.2
2024年 1- 3月	▲3.3	▲4.4	10.6	▲4.9	▲5.4	▲8.4	▲5.0	1.6	▲21.0	▲5.6	▲11.5	11.0	1.6
4- 6月	10.2	19.0	19.1	2.3	▲4.7	▲24.2	▲11.4	▲1.9	▲23.0	▲8.2	▲12.9	▲14.0	5.3
7- 9月	▲5.3	▲18.3	▲0.9	5.3	▲4.8	▲33.8	▲22.7	22.1	▲17.7	▲6.2	▲14.4	▲9.2	4.1
10-12月	2.9	1.8	▲10.1	5.0	7.5	▲25.7	▲23.5	8.9	▲9.2	▲5.7	▲23.2	▲22.0	▲0.7
2024年 11月	14.2	13.1	▲12.0	16.7	2.8	▲28.0	▲27.4	▲19.2	▲9.2	▲2.9	▲10.9	▲4.2	▲4.5
12月	▲11.6	▲24.4	▲22.0	1.2	3.8	▲19.0	▲26.9	25.2	▲13.9	▲6.1	▲19.8	▲26.7	1.9
2025年 1月	8.1	6.3	102.5	1.2	▲5.7	▲24.4	▲21.2	15.6	3.9	0.8	▲6.6	▲24.7	4.8
4月からの累計	115,873	46,982	7,468	56,780	115.4	66.7	106.4	95.9	113.5	102.7	89.4	87.4	111.6
前年同期	112,694	46,948	6,846	54,641	116.7	92.1	132.1	87.2	133.6	109.3	107.1	104.7	108.4
増 減 量	3,179	34	622	2,139	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前年同期比	2.8	0.1	9.1	3.9	▲1.2	▲27.6	▲19.4	10.1	▲15.0	▲6.0	▲16.5	▲16.5	3.0

(出所) 経済産業省、内閣府

(注) 受注額は内閣府「機械受注実績」の原動機+産業機械+工作機械。



〔表5〕電 気 機 械 、 造 船 活 動 水 準

(単位: IIP<20年=100>・%、千G/T、%)

	I I P							造船				
	電気機械	重電機	家庭用			通信機械	電子部	起工量	竣工量	輸出船 契約量	輸出通関 実績	手持ち 工事量
			電気機器	民生用電機	民生用電子							
2022年度	103.7	107.6	97.2	99.1	94.1	87.9	79.3	8,784	9,093	13,326	8,382	24,713
2023年度	100.3	102.3	96.3	90.4	106.4	75.0	80.1	8,544	9,533	11,699	8,877	27,629
2023年10-12月	103.1	104.6	96.4	87.6	111.2	68.8	84.1	2,427	2,677	4,547	2,488	27,094
2024年 1- 3月	100.6	103.8	92.3	86.2	102.4	93.8	74.8	1,930	2,614	2,609	2,264	27,629
4- 6月	96.1	90.3	101.2	101.1	101.3	46.2	77.2	2,426	2,174	4,766	1,988	30,253
7- 9月	104.9	96.0	93.1	85.5	105.9	65.5	84.5	2,276	2,176	1,949	2,114	30,000
10-12月	104.9	101.2	97.4	88.0	113.2	62.5	80.8	2,067	1,685	1,837	1,585	29,841
2024年 11月	101.4	98.1	97.7	88.3	113.5	58.3	78.2	667	478	236	414	29,666
12月	106.8	106.4	91.5	85.5	101.5	68.1	81.8	617	512	913	547	29,841
2025年 1月	92.0	90.9	82.0	85.0	76.9	55.4	73.2	843	989	507	960	29,382
2022年度	▲3.3	2.2	4.6	5.2	3.7	▲3.0	▲25.8	0.7	▲7.9	▲9.1	▲9.4	23.7
2023年度	▲3.3	▲4.9	▲0.9	▲8.8	13.1	▲14.7	1.1	▲2.7	4.8	▲12.2	5.9	11.8
2023年10-12月	▲2.3	▲4.6	▲0.6	▲7.8	10.8	▲20.7	9.3	18.9	33.3	93.6	48.5	8.2
2024年 1- 3月	▲3.9	▲10.8	▲5.6	▲7.6	▲2.7	▲13.9	21.2	▲22.6	▲1.1	▲10.2	▲8.2	2.0
4- 6月	▲2.8	▲10.0	▲7.3	▲9.3	▲3.7	▲33.7	2.1	20.4	10.8	88.6	0.1	9.5
7- 9月	6.4	▲4.3	6.3	12.1	▲0.8	▲3.3	▲1.8	4.8	▲4.5	▲3.4	▲1.2	▲0.8
10-12月	1.7	▲3.2	1.1	0.5	1.8	▲9.1	▲3.9	▲14.9	▲37.1	▲59.6	▲36.3	▲0.5
2024年 11月	▲0.5	▲4.1	▲0.5	▲1.3	0.6	▲8.4	▲6.1	▲23.7	▲31.3	▲74.4	▲49.6	▲1.1
12月	2.2	▲1.1	▲6.9	▲6.5	▲7.6	▲7.2	▲1.3	▲30.0	▲53.7	▲27.5	▲35.5	0.6
2025年 1月	0.9	7.0	▲7.1	2.2	▲20.6	▲26.7	0.5	25.3	32.1	65.1	53.6	▲1.5
4月からの累計	101.0	95.3	95.7	90.9	103.8	57.8	80.1	7,612	7,024	9,058	6,647	-
前年同期	99.3	100.1	96.8	90.9	106.6	69.4	81.0	7,286	7,667	9,398	7,238	-
増 減 量	-	-	-	-	-	-	-	325	▲643	▲340	▲591	-
前年同期比	1.7	▲4.8	▲1.1	0.0	▲2.6	▲16.7	▲1.1	4.5	▲8.4	▲3.6	▲8.2	-

(出所) 経済産業省、国土交通省、日本船舶輸出組合

(注) 1. 電気機械工業IIPは、電子部品・デバイス工業+電気・情報通信機械工業を加重平均したもの。

2. 民生用電機IIPは、家事用機器+空調・住宅関連機器を加重平均したもの。

3. 造船起工量、竣工量は速報で主要工場ベース。

4. 手持工事量は前月(期)末比増減率。

**ー12月の普通鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比6.0%減の285万トンと7
ヵ月連続の減少、24 暦年では前年比4.6%減の3,341万トンと3年連続
の減少ー**

3. 鋼材受注

○12月の普通鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比6.0%減の285万トンと7ヵ月連続の減少

- ・建設用(8.9%減)は、土木(9.8%減・5ヵ月連続)、建築(10.1%減・7ヵ月連続)、その他建設(5.0%減・5ヵ月連続)がいずれも減少したことから、全体では7ヵ月連続の減少となった。

※その他建設用：建築金物、建築用付属資材(配管・配線用、サッシ、シャッター等)、仮設材(足場鋼管、メタルフォーム等)など。

- ・製造業用(5.2%減)は、ウェイトが高い自動車(1.9%減・12ヵ月連続)のほか、造船(11.3%減、3ヵ月連続)、産機(16.4%減・31ヵ月連続)、電機(6.6%減・2ヵ月ぶり)がいずれも減少したことから、全体では12ヵ月連続の減少となった。
- ・建設向けのウェイトが高い販売業者向け(4.9%減)は5ヵ月連続の減少となった。
- ・内需全体(6.0%減)では7ヵ月連続の減少となった。
- ・輸出向け(1.8%増)は2ヵ月ぶりの増加となった。
- ・24 暦年では、建設業向け(前年比6.1%減)、製造業向け(同5.2%減)、販売業者向け(同2.6%減)いずれも減少したことから、内需全体では前年比4.6%減の3,341万トンと3年連続の減少となった。

○12月の特殊鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比3.1%減の86万トンと11ヵ月連続の減少

- ・製造業用(3.7%減)は、産機(4.6%減・2ヵ月連続)、自動車(3.6%減・9ヵ月連続)、次工程(5.0%減・2ヵ月連続)がいずれも減少したことから、全体では11ヵ月連続の減少となった。
- ・内需全体(3.1%減)は11ヵ月連続の減少となった。
- ・輸出向け(9.2%増)は6ヵ月ぶりの増加となった。
- ・24 暦年の特殊鋼鋼材受注(内需計)は、前年比3.8%減の993万トンと3年連続の減少となった。

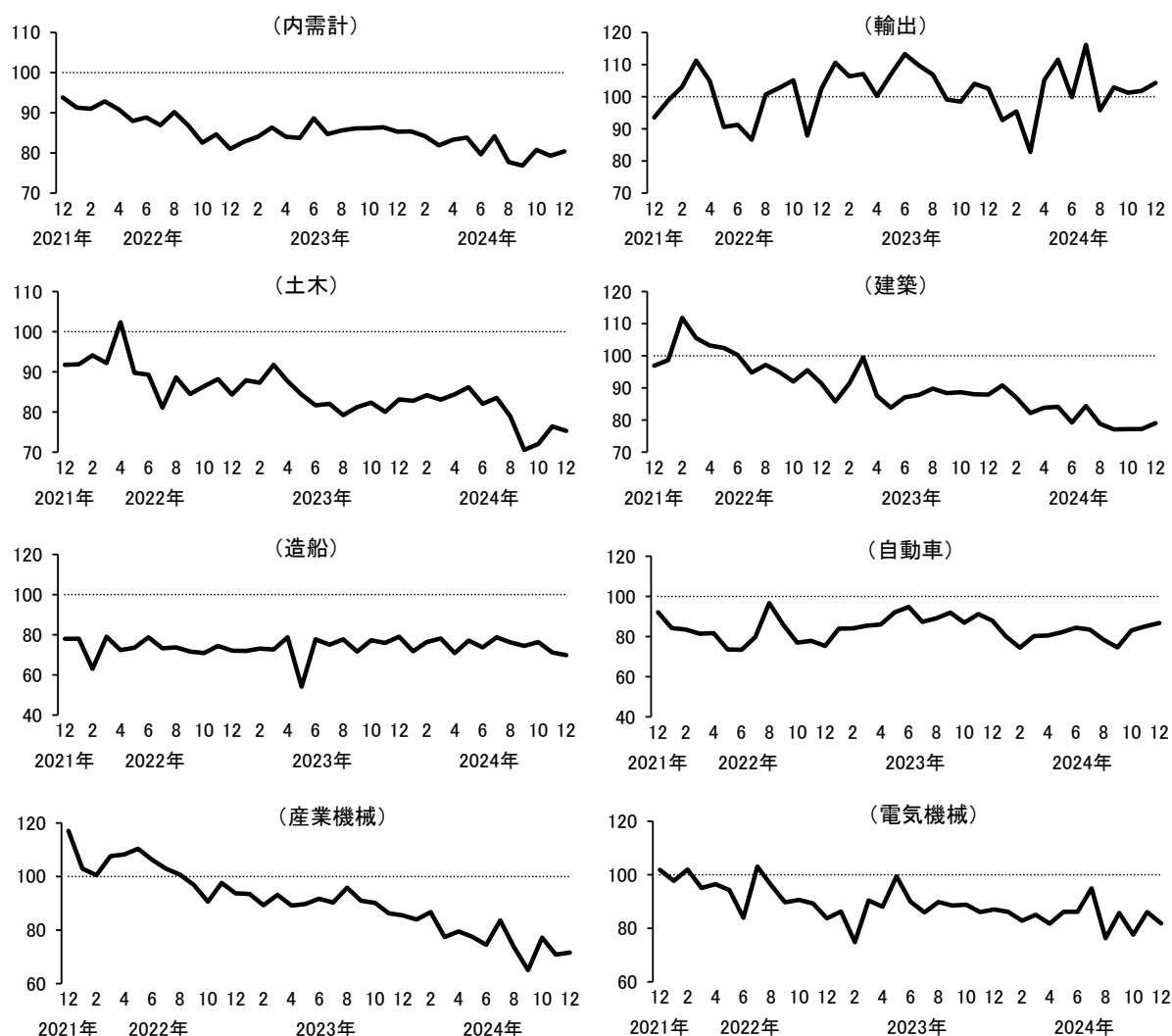
〔表6〕鋼 材 受 注 総 括 表

(単位：千トン、%)

	建設計	普 通				鋼 鋼 材				販売業者	内需計	輸出
		土 木	建 築	その他建設	製造業計	造 船	自動車	産 機	電 機			
2022年度	9,463	1,887	5,662	1,914	14,747	2,834	6,789	1,389	1,338	11,097	35,307	21,782
2023年度	8,757	1,764	5,164	1,829	14,946	2,888	7,234	1,242	1,313	11,246	34,949	22,023
2023年10-12月	2,256	442	1,342	471	3,853	771	1,849	320	333	2,916	9,025	5,636
2024年 1- 3月	2,159	439	1,263	457	3,550	736	1,650	279	315	2,870	8,579	4,935
4- 6月	2,129	450	1,229	450	3,461	702	1,600	277	314	2,753	8,343	5,826
7- 9月	1,996	413	1,149	435	3,603	726	1,743	258	314	2,492	8,091	5,554
10-12月	2,034	401	1,186	447	3,655	722	1,762	268	312	2,710	8,399	5,690
2024年 10月	696	141	406	148	1,200	240	582	99	92	927	2,823	1,893
11月	675	131	394	150	1,170	215	561	81	117	878	2,723	1,825
12月	663	129	385	149	1,285	267	619	88	103	906	2,853	1,972
2022年度	▲9.7	▲8.0	▲6.4	▲19.6	▲6.3	3.0	▲4.2	▲10.7	▲11.9	▲8.2	▲7.8	▲3.0
2023年度	▲7.5	▲6.5	▲8.8	▲4.4	1.4	1.9	6.6	▲10.6	▲1.9	1.3	▲1.0	1.1
2023年10-12月	▲4.0	▲5.5	▲5.0	0.5	7.2	7.6	14.7	▲7.0	▲1.0	5.8	3.7	3.1
2024年 1- 3月	▲4.3	▲6.3	▲6.6	4.7	▲2.8	4.1	▲7.4	▲10.6	0.9	5.0	▲0.7	▲16.7
4- 6月	▲3.1	▲0.1	▲4.5	▲2.1	▲4.8	4.8	▲9.0	▲14.0	▲8.2	▲2.2	▲3.5	▲0.8
7- 9月	▲7.0	▲4.5	▲9.8	▲1.5	▲7.8	2.2	▲11.8	▲19.8	▲2.8	▲5.8	▲7.0	▲0.4
10-12月	▲9.8	▲9.2	▲11.7	▲5.1	▲5.1	▲6.4	▲4.7	▲16.3	▲6.3	▲7.1	▲6.9	1.0
2024年 10月	▲11.6	▲12.7	▲13.0	▲6.2	▲5.0	▲0.9	▲5.5	▲14.8	▲13.1	▲4.8	▲6.6	3.1
11月	▲8.8	▲4.6	▲11.8	▲4.1	▲5.2	▲5.7	▲6.8	▲17.9	0.2	▲11.4	▲8.2	▲2.0
12月	▲8.9	▲9.8	▲10.1	▲5.0	▲5.2	▲11.3	▲1.9	▲16.4	▲6.6	▲4.9	▲6.0	1.8
1月からの累計	8,318	1,703	4,826	1,789	14,269	2,886	6,755	1,081	1,255	10,826	33,413	22,004
前年同期	8,855	1,793	5,253	1,809	15,049	2,859	7,367	1,275	1,310	11,109	35,013	23,016
増 減 量	▲537	▲90	▲427	▲20	▲780	27	▲611	▲194	▲55	▲284	▲1,600	▲1,012
前年同期比	▲6.1	▲5.0	▲8.1	▲1.1	▲5.2	0.9	▲8.3	▲15.2	▲4.2	▲2.6	▲4.6	▲4.4

(出所) 日本鉄鋼連盟

〔図 1 9〕 普通鋼鋼材受注推移（季節調整済指数、2019 年＝100）



〔表 6〕 鋼 材 受 注 総 括 表 （続）

	特 殊 鋼 材							(単位：千トン、%)	
	製造業計	鋼 材			販売業者	内需計	輸出	鋼 材 合 計	
		産 機	自動車	次工程				内需計	輸出計
2022年度	8,986	1,434	3,818	3,269	896	10,177	4,348	45,483	26,130
2023年度	9,163	1,245	4,274	3,234	795	10,247	3,997	45,197	26,021
2023年10-12月	2,334	302	1,114	819	197	2,609	986	11,634	6,622
2024年 1- 3月	2,149	294	979	771	207	2,430	947	11,009	5,882
4- 6月	2,180	302	984	783	211	2,465	966	10,808	6,792
7- 9月	2,206	313	1,000	778	203	2,484	966	10,574	6,520
10-12月	2,271	294	1,050	812	205	2,549	975	10,949	6,664
2024年 10月	759	104	340	278	69	852	336	3,674	2,228
11月	752	94	354	265	69	843	294	3,566	2,119
12月	761	96	356	269	67	855	345	3,708	2,317
2022年度	▲13.1	▲11.6	▲11.8	▲15.3	▲19.1	▲13.8	▲8.3	▲9.2	▲3.9
2023年度	2.0	▲13.2	11.9	▲1.1	▲11.3	0.7	▲8.1	▲0.6	▲0.4
2023年10-12月	6.6	▲12.8	19.7	1.8	▲8.1	5.3	▲8.7	4.1	1.1
2024年 1- 3月	▲3.3	▲19.2	1.7	▲2.3	▲0.6	▲2.8	▲9.3	▲1.2	▲15.6
4- 6月	▲4.3	▲8.3	▲4.2	▲4.3	2.4	▲3.4	▲3.9	▲3.5	▲1.3
7- 9月	▲8.1	▲2.0	▲13.3	▲5.9	10.1	▲6.5	▲8.8	▲6.9	▲1.8
10-12月	▲2.7	▲2.7	▲5.7	▲0.9	3.9	▲2.3	▲1.2	▲5.9	0.6
2024年 10月	▲2.0	0.1	▲9.9	5.6	5.6	▲1.4	▲0.6	▲5.5	2.5
11月	▲2.5	▲3.8	▲3.5	▲2.8	2.1	▲2.4	▲11.6	▲6.9	▲3.5
12月	▲3.7	▲4.6	▲3.6	▲5.0	4.0	▲3.1	9.2	▲5.4	2.8
1月からの累計	8,807	1,203	4,014	3,143	826	9,927	3,854	43,340	25,858
前年同期	9,236	1,315	4,258	3,252	796	10,316	4,095	45,329	27,110
増 減 量	▲429	▲112	▲244	▲109	30	▲389	▲241	▲1,989	▲1,253
前年同期比	▲4.6	▲8.5	▲5.7	▲3.4	3.8	▲3.8	▲5.9	▲4.4	▲4.6

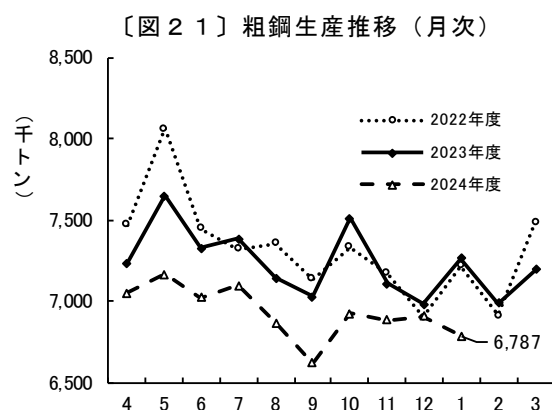
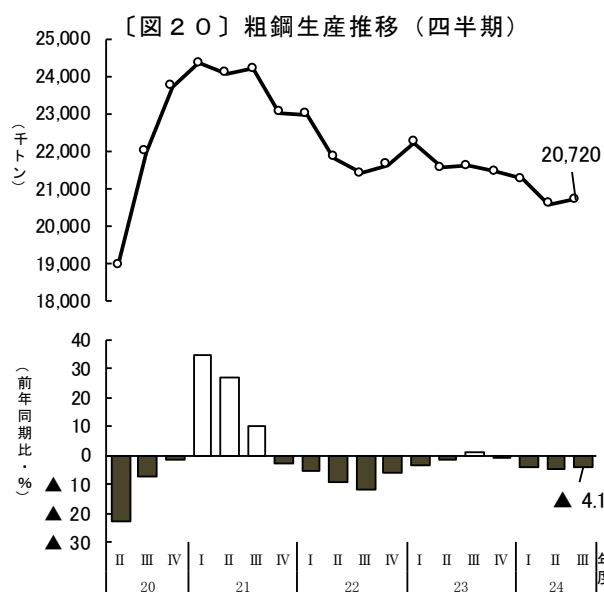
4. 鉄鋼需給(生産・出荷・在庫)

ー1月の粗鋼生産は

前年同月比 6.6%減の 679 万トンと 11 ヶ月連続の減少ー

○粗鋼生産・普通鋼鋼材生産、普通鋼鋼材出荷・在庫動向

- ・ 1月の粗鋼生産は、前年同月比 6.6%減の 679 万トンと 11 ヶ月連続の減少となった。
- ・ 1月の普通鋼鋼材生産は、前年同月比 5.4%減の 471 万トンと 2 ヶ月ぶりの減少となった。
- ・ 1月の普通鋼鋼材国内向け出荷は、前年同月比 1.5%増の 285 万トンと 9 ヶ月ぶりの増加となった。輸出向け出荷は同 7.7%減の 166 万トンと 3 ヶ月ぶりの減少となった。
- ・ 1月末の普通鋼鋼材国内向け在庫は、前月末比 9 千トン減の 497 万トンと 2 ヶ月ぶりの減少となった。なお、在庫率は前月末比 4 ポイント低下の 174.5%となった。



(万トン)	粗鋼		
	需要量見通し	生産計画	実績
2024年7月～9月	2,151	2,163	2,059
2024年10月～12月	2,130	2,136	2,072
2025年1月～3月	2,093	2,051	

〔表 7〕鉄 鋼 需 給 総 括 表

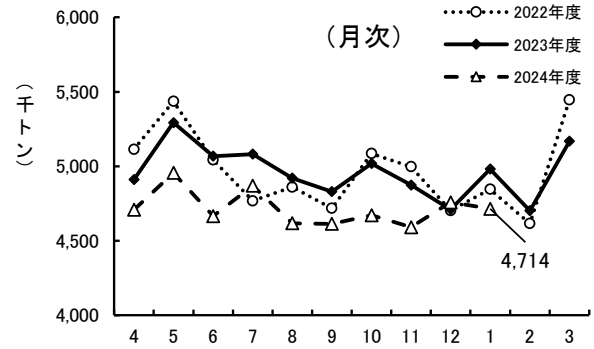
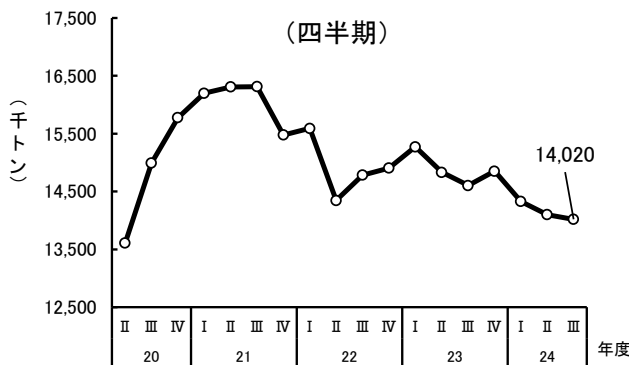
(単位:千トン、%)

	粗鋼生産			鋼材生産		普通鋼鋼材出荷			普通鋼鋼材在庫		
	合計	転炉鋼	電炉鋼	普通鋼	特殊鋼	計	国内	輸出	計	国内	在庫率
2022年度	87,839	64,326	23,513	59,631	15,334	60,067	38,054	22,013	6,401	5,387	152.9
2023年度	86,828	63,849	22,979	59,559	15,084	59,426	36,717	22,710	6,533	5,445	170.0
2023年10-12月	21,605	15,694	5,911	14,604	3,816	14,670	9,334	5,336	6,073	5,078	163.2
2024年 1- 3月	21,452	15,695	5,757	14,852	3,706	14,392	8,949	5,443	6,533	5,445	182.5
4- 6月	21,246	15,527	5,719	14,329	3,543	14,350	9,026	5,324	6,513	5,298	176.1
7- 9月	20,591	15,326	5,265	14,101	3,651	14,174	8,386	5,788	6,439	5,314	190.1
10-12月	20,720	15,410	5,310	14,020	3,591	14,414	8,841	5,573	6,046	4,979	169.0
2024年 11月	6,887	5,090	1,798	4,591	1,204	4,767	2,921	1,846	6,118	4,951	169.5
12月	6,907	5,219	1,688	4,758	1,192	4,830	2,790	2,040	6,046	4,979	178.5
2025年 1月	6,787	5,146	1,640	4,714	1,177	4,510	2,848	1,662	6,250	4,970	174.5
2022年度	▲8.2	▲9.6	▲4.0	▲7.3	▲10.9	▲5.1	▲6.0	▲3.5	▲437	▲600	-
2023年度	▲1.2	▲0.7	▲2.3	▲0.1	▲1.6	▲1.1	▲3.5	3.2	133	58	-
2023年10-12月	0.9	0.9	0.9	▲1.2	▲1.0	▲2.5	▲2.9	▲1.7	▲66	▲97	-
2024年 1- 3月	▲0.8	▲2.0	2.6	▲0.4	0.6	▲4.6	▲4.9	▲4.2	460	366	-
4- 6月	▲4.4	▲4.1	▲4.9	▲6.2	▲3.8	▲6.2	▲2.9	▲11.4	▲20	▲146	-
7- 9月	▲4.5	▲5.8	▲0.6	▲4.9	▲5.9	▲5.9	▲8.3	▲2.2	▲74	16	-
10-12月	▲4.1	▲1.8	▲10.2	▲4.0	▲5.9	▲1.7	▲5.3	4.4	▲394	▲335	-
2024年 11月	▲3.1	▲0.0	▲11.0	▲5.8	▲8.0	▲2.8	▲6.8	4.1	▲176	▲158	-
12月	▲1.1	1.7	▲8.9	1.0	▲4.1	1.2	▲6.3	13.7	▲72	28	-
2025年 1月	▲6.6	▲5.2	▲10.7	▲5.4	▲6.5	▲2.1	1.5	▲7.7	204	▲9	-
4月からの累計	69,344	51,409	17,935	47,165	11,962	47,448	29,101	18,347	-	-	-
前年同期	72,640	53,582	19,058	49,689	12,637	49,642	30,575	19,067	-	-	-
増 減 量	▲3,296	▲2,173	▲1,123	▲2,524	▲675	▲2,194	▲1,474	▲720	-	-	-
前年同期比	▲4.5	▲4.1	▲5.9	▲5.1	▲5.3	▲4.4	▲4.8	▲3.8	-	-	-

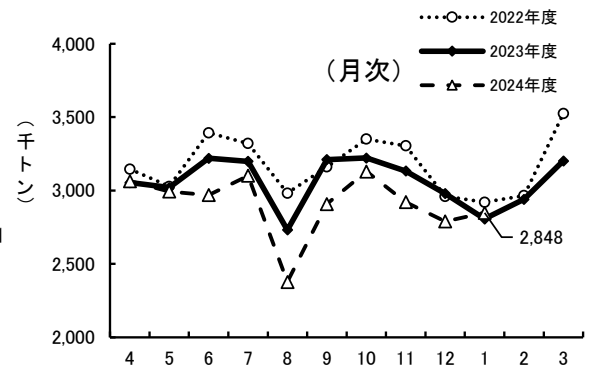
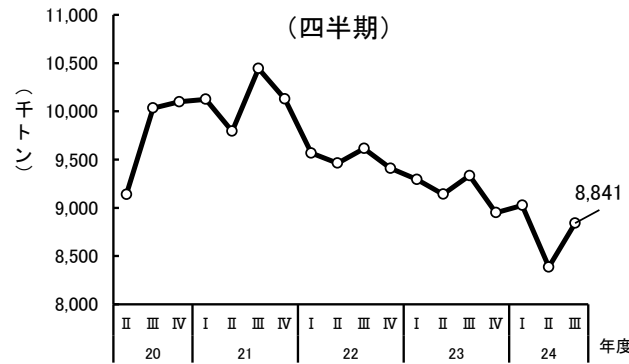
(出所) 経済産業省、日本鉄鋼連盟 (注) 在庫は前月(期)末比増減量

〔図22〕 普通鋼鋼材需給

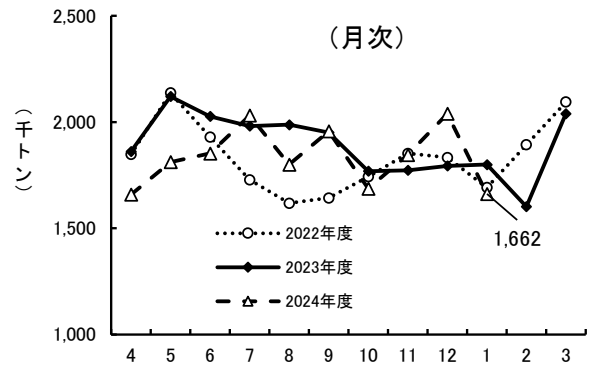
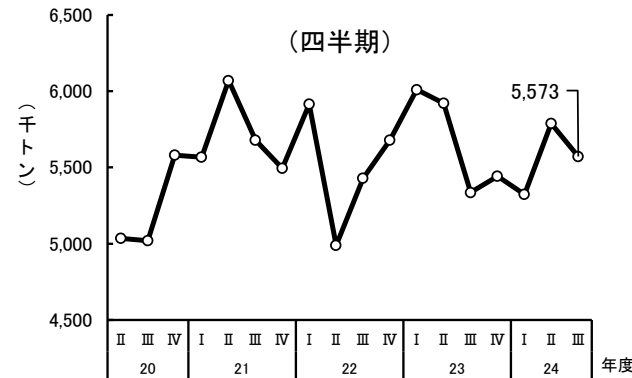
生産



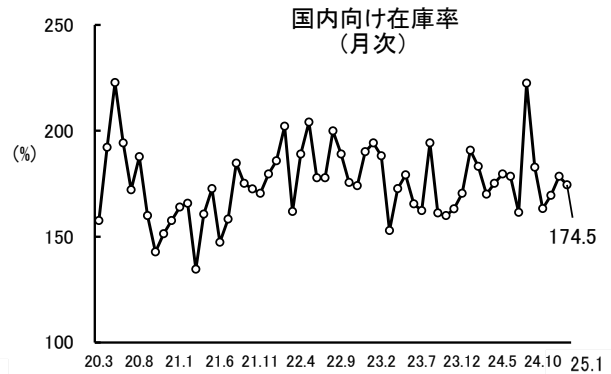
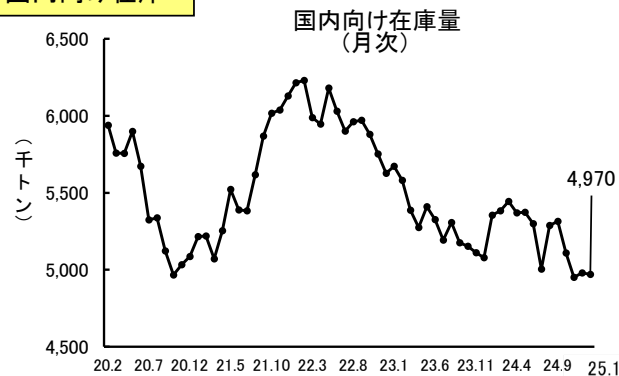
国内向け出荷



輸出向け出荷



国内向け在庫



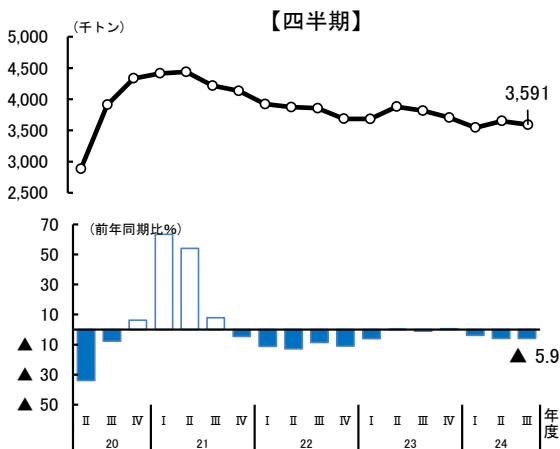
－12 月の特殊鋼鋼材生産は前年同月比 4.1%減の 119 万トンと 11 ヲ月連続の減少、

○生産、出荷、在庫動向

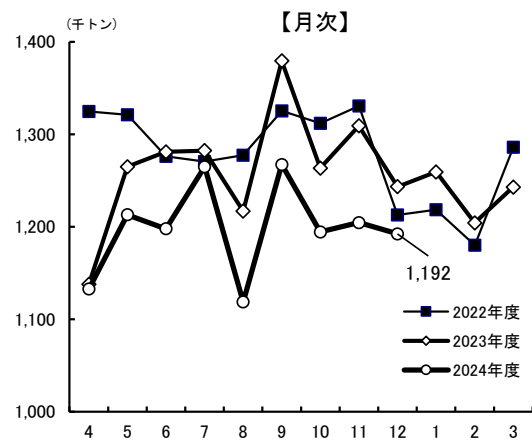
24 暦年では、前年比 3.8%減の 1,449 万トンと 3 年連続の減少一

- ・ 12 月の特殊鋼鋼材生産は、前年同月比 4.1%減の 119 万トンと 11 ヶ月連続の減少となった。
- ・ 鋼種別には、工具鋼(同 0.6%増)、ステンレス鋼(同 4.0%増)が増加したものの、機械構造用炭素鋼(同 7.2%減)、構造用合金鋼(同 2.0%減)、ばね鋼(同 5.9%減)、高抗張力鋼(同 8.6%減)が減少した。
- ・ 2024 暦年では、前年比 3.8%減の 1,449 万トンと 3 年連続の減少となった。
- ・ 12 月の特殊鋼鋼材出荷は、国内向け(同 1.9%減、87 万トン・12 ヶ月連続)、輸出向け(同 2.9%減、34 万トン・5 ヶ月連続)がともに減少し、合計(同 2.2%減、120 万トン)では 5 ヶ月連続の減少となった。
- ・ 12 月末の特殊鋼鋼材在庫は、前月末比 2.9 万トン減の 165 万トンとなった。なお、在庫率は 3.1 ポイント低下し 137.2%となった。

〔図23〕特殊鋼鋼材生産推移



〔図24〕特殊鋼鋼材生産推移



〔表8〕特殊鋼鋼材需給表

	生 産	出 荷			在 庫		鋼 種 別 生 産					
		計	国 内	輸 出	在庫率	工具鋼	ＳＣ	ＡＬ	ばね鋼	ステンレス	高抗張力鋼	
2022年度	15,334	15,263	10,884	4,379	1,728	129.9	155	3,981	3,231	312	2,042	3,956
2023年度	15,084	14,684	10,606	4,078	1,732	135.4	166	3,894	3,176	304	1,823	4,187
2023年10-12月	3,816	3,775	2,730	1,045	1,708	135.7	54	1,022	803	79	451	1,031
2024年 1- 3月	3,706	3,581	2,551	1,030	1,732	145.1	48	935	737	72	447	1,084
4- 6月	3,543	3,442	2,509	933	1,723	150.2	53	890	734	72	463	973
7- 9月	3,651	3,529	2,516	1,012	1,739	147.8	47	925	773	73	467	984
10-12月	3,591	3,603	2,636	967	1,647	137.1	46	907	750	73	467	971
2024年 10月	1,194	1,208	906	302	1,691	140.0	18	307	250	26	148	326
11月	1,204	1,194	866	329	1,675	140.3	9	299	253	22	162	332
12月	1,192	1,200	865	336	1,647	137.2	18	308	248	25	158	312
2022年度	▲10.9	▲9.1	▲9.1	▲9.0	▲229	-	▲20.4	▲14.0	▲9.9	▲13.4	▲8.7	▲5.4
2023年度	▲1.6	▲3.8	▲2.6	▲6.9	5	-	6.7	▲2.2	▲1.7	▲2.6	▲10.7	5.8
2023年10-12月	▲1.0	▲2.0	▲2.1	▲1.7	▲21	-	37.9	▲0.1	▲3.5	▲2.8	▲13.4	9.2
2024年 1- 3月	0.6	▲3.9	▲6.1	1.9	25	-	55.1	▲3.8	▲4.8	▲3.5	▲3.7	10.1
4- 6月	▲3.8	▲4.2	▲4.5	▲3.2	▲9	-	54.0	▲5.7	▲9.7	▲6.5	0.4	▲0.1
7- 9月	▲5.9	▲5.6	▲6.7	▲2.6	15	-	62.5	▲6.9	▲6.1	▲3.2	0.5	▲10.4
10-12月	▲5.9	▲4.6	▲3.4	▲7.5	▲92	-	▲15.8	▲11.3	▲6.6	▲8.0	3.7	▲5.8
2024年 10月	▲5.5	▲4.0	▲1.5	▲10.8	▲48	-	6.5	▲11.7	▲10.0	3.1	2.2	▲1.8
11月	▲8.0	▲7.4	▲6.8	▲8.9	▲16	-	▲50.9	▲14.8	▲7.4	▲20.2	4.9	▲6.8
12月	▲4.1	▲2.2	▲1.9	▲2.9	▲29	-	0.6	▲7.2	▲2.0	▲5.9	4.0	▲8.6
1月からの累計	14,491	14,154	10,212	3,942	-	-	194	3,656	2,994	290	1,844	4,012
前年同期	15,062	14,830	10,770	4,059	-	-	149	3,931	3,213	306	1,841	4,087
増 減 量	▲571	▲675	▲558	▲118	-	-	45	▲274	▲219	▲16	4	▲75
前年同期比	▲3.8	▲4.6	▲5.2	▲2.9	-	-	30.5	▲7.0	▲6.8	▲5.3	0.2	▲1.8

(出所) 経済産業省、日本鉄鋼連盟

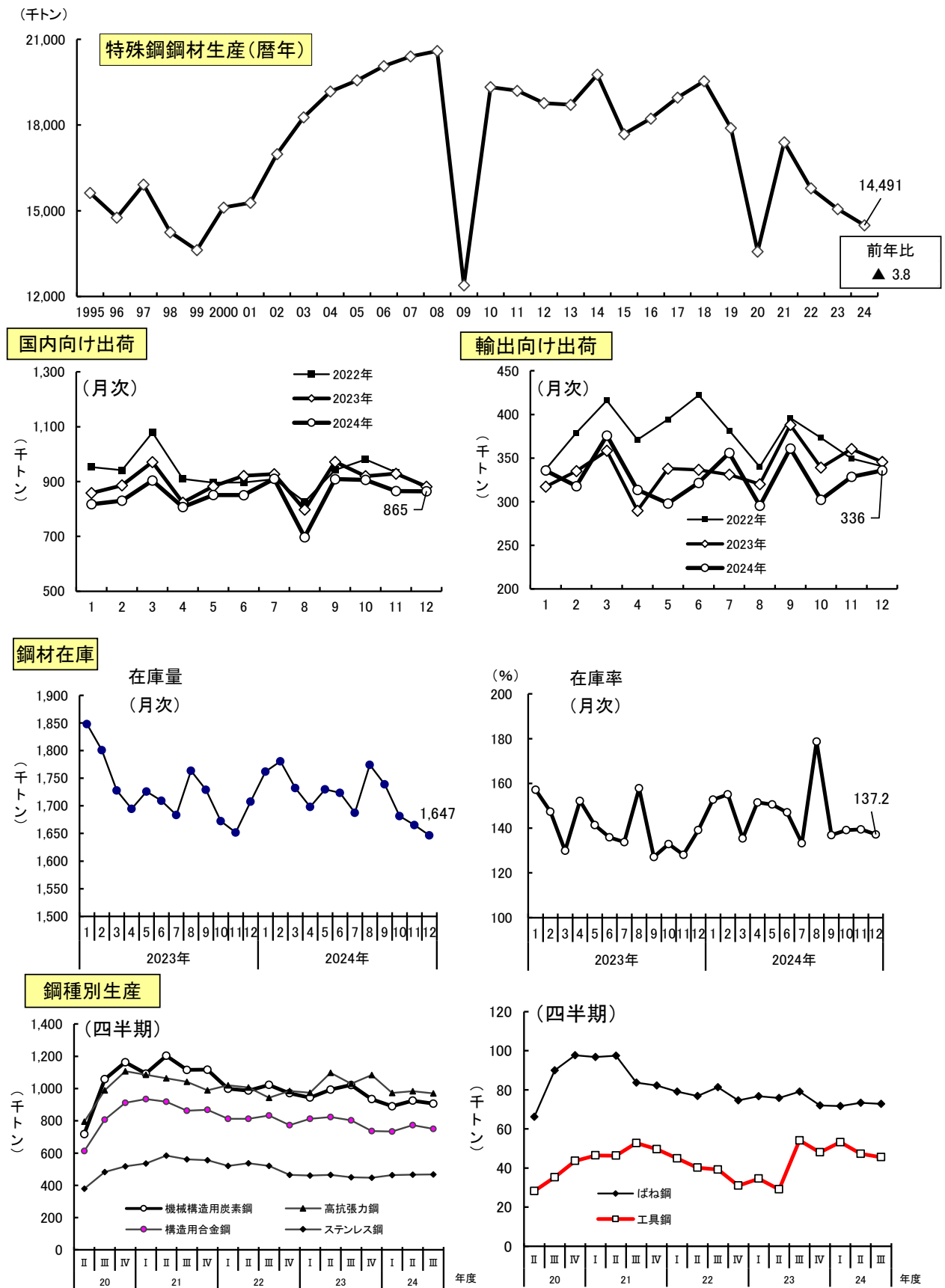
(注) 1. 在庫は前月(期)末比増減。

2. 生産は最終鋼材生産、出荷・メーカー在庫は外販用鋼材販売在庫調査、在庫はメーカー及び市中在庫合計。

3. SCは機械構造用炭素鋼、ALは構造用合金鋼。

4. 生産については、2020年1月より、経済産業省の特殊鋼生産統計（最終鋼材）において鋼管が対象外とされたため、本表では業界自主統計より特殊鋼鋼管生産を加算して最終鋼材生産を算出している。

〔図 2 5〕 特殊鋼鋼材需給



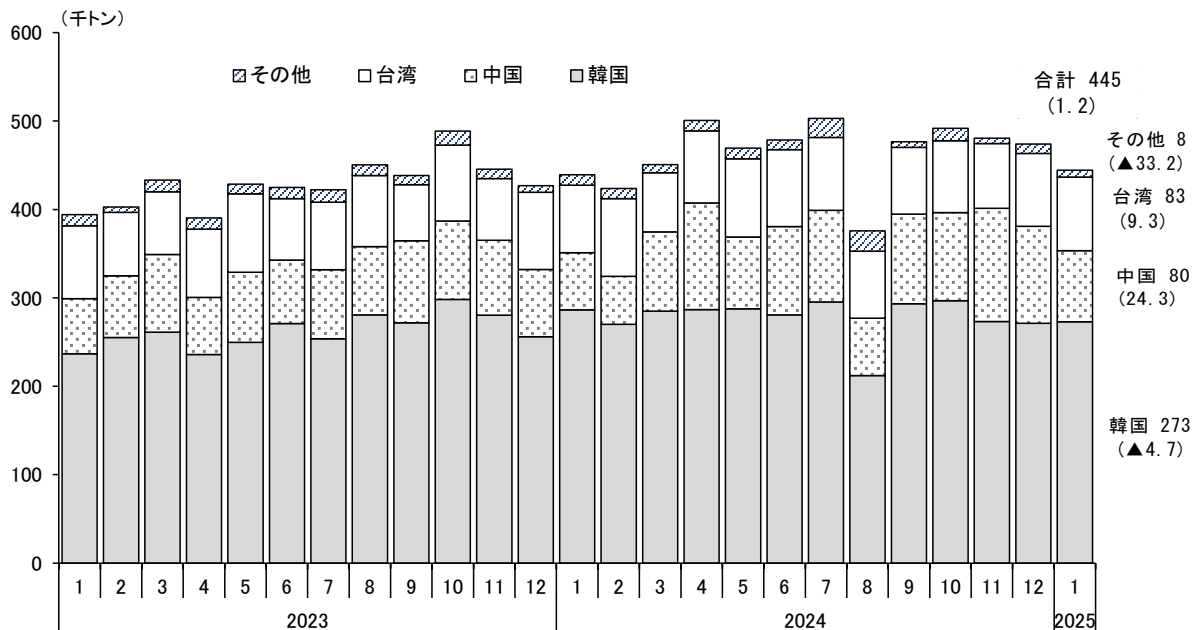
５．鋼材輸入、鋼材流通

ー1月の鋼材輸入は、前年同月比1.2%増の45万トンと5ヵ月連続の増加ー

○ 1月の鋼材輸入の動向

- 1月の鋼材輸入(普通鋼+特殊鋼)は、前年同月比1.2%増の45万トンと5ヵ月連続の増加となった。
国別では、韓国(4.7%減・2ヵ月ぶり)が減少したものの、台湾(9.3%増・2ヵ月ぶり)、中国(24.3%増・5ヵ月連続)が増加した。

〔図26〕鋼材輸入 国・地域別推移(普通鋼+特殊鋼)



(注) 棒グラフ上の数値は、普通鋼と特殊鋼の輸入量計。() は前年同月比。

〔表9〕普通鋼鋼材輸入

(単位:千トン、%)

	鋼材輸入 合計 (普通鋼+特殊鋼)	普通鋼鋼材輸入							国 別			
		合 計	線 材	厚 中 板	熱 延 薄 板 類	冷 延 薄 板 類	垂 鉛 めっき鋼板	その他	韓 国	台 湾	中 国	その他
2022年度	4,797	4,314	303	389	1,397	813	991	420	2,672	836	693	113
2023年度	5,230	4,770	248	435	1,459	917	1,240	472	3,016	863	786	105
2023年10-12月	1,361	1,253	58	107	384	235	350	120	785	227	215	26
2024年 1- 3月	1,314	1,197	55	115	356	245	312	114	784	214	174	25
4- 6月	1,449	1,317	72	132	405	260	318	131	797	236	257	26
7- 9月	1,355	1,232	67	124	368	222	324	128	748	217	226	41
10-12月	1,446	1,304	59	150	378	233	329	155	782	218	286	18
2024年 11月	481	433	26	48	120	73	108	57	250	68	112	3
12月	474	428	16	36	130	85	115	45	253	77	92	5
2025年 1月	445	396	18	36	125	71	96	51	253	74	65	4
2022年度	2.0	3.9	▲4.6	▲6.4	13.8	▲6.6	10.3	0.1	1.7	19.0	20.9	▲54.4
2023年度	9.0	10.6	▲18.3	11.9	4.4	12.7	25.1	12.3	12.9	3.3	13.5	▲7.1
2023年10-12月	11.9	13.5	7.1	13.4	6.0	11.0	31.9	2.7	19.3	▲2.5	9.9	51.2
2024年 1- 3月	6.8	6.4	▲31.6	2.1	6.9	14.6	11.3	8.5	9.8	3.9	▲4.2	6.0
4- 6月	16.5	16.5	18.9	22.7	12.8	20.0	17.3	12.5	13.1	8.0	42.5	▲1.1
7- 9月	3.4	3.5	▲9.9	17.6	2.3	0.2	5.6	4.0	0.8	6.6	4.5	48.7
10-12月	6.3	4.1	1.4	41.0	▲1.5	▲0.8	▲5.9	29.3	▲0.4	▲3.9	33.4	▲30.3
2024年 11月	7.9	6.9	61.9	26.7	▲8.3	11.5	▲2.1	30.7	▲4.5	6.6	56.8	▲63.1
12月	11.1	9.2	5.2	▲7.2	12.4	8.3	3.5	41.1	6.3	7.1	41.6	▲4.5
2025年 1月	1.2	▲1.1	▲10.7	7.7	▲0.6	▲8.1	▲9.1	29.4	▲5.1	4.1	21.4	▲57.4
4月からの累計	4,695	4,249	215	442	1,276	785	1,067	464	2,580	745	834	90
前年同期	4,355	3,974	213	353	1,228	749	1,033	398	2,498	720	665	90
増 減 量	340	275	3	89	48	36	34	66	81	25	169	▲*
前年同期比	7.8	6.9	1.3	25.3	3.9	4.8	3.3	16.6	3.3	3.5	25.4	▲0.3

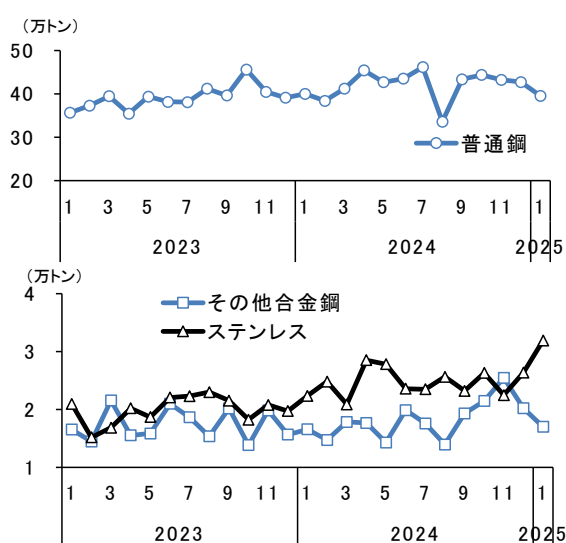
(出所) 財務省貿易統計

- ・ 鋼種別では、普通鋼(1.1%減)が3ヵ月ぶりの減少、特殊鋼(25.7%増)が13ヵ月連続の増加となった。
- ・ 普通鋼は、厚中板(7.7%増)が増加したものの、線材(10.7%減)、熱延薄板類(0.6%減)、冷延薄板類(8.1%減)、亜鉛めっき鋼板(9.1%減)が減少した。
- ・ 特殊鋼は、ステンレス(42.8%増)、その他合金鋼(2.6%増)がいずれも増加した。

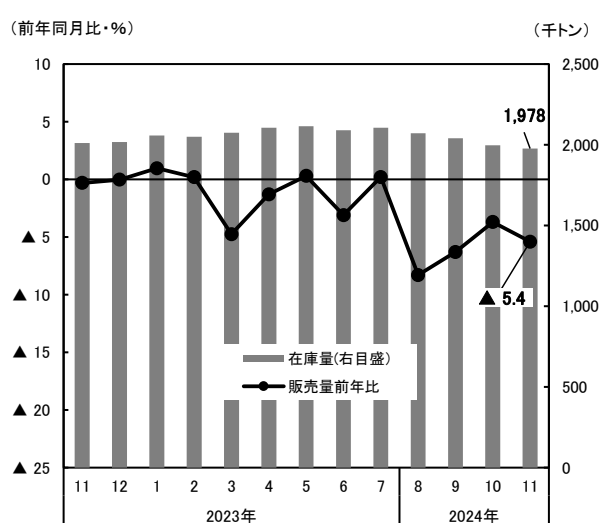
〇11月における鋼材流通の動向

- ・ 市中販売は、前年同月比5.4%減の206万トンと、4ヵ月連続の減少となった。
- ・ 市中在庫(自社所有分)は、前月末比で1.9万トン減少の1,978万トンと4ヵ月連続の減少となった。

〔図27〕 鋼材輸入鋼種別推移



〔図28〕 市中鋼材数量調査の推移



〔表10〕 特殊鋼鋼材輸入

	合 計	特殊鋼鋼材輸入						国 別			
		ステンレス	その他 合金鋼	線 材			その他	韓 国	台 湾	中 国	その他
				線材	鋼板	その他					
2022年度	483	279	204	57	17	130	182	75	179	46	
2023年度	459	254	205	55	13	137	224	66	136	34	
2023年10-12月	108	59	49	12	3	35	50	16	35	7	
2024年 1- 3月	117	68	49	11	2	36	58	17	34	8	
4- 6月	132	80	52	14	5	33	58	21	45	8	
7- 9月	123	72	51	14	6	31	53	17	43	10	
10-12月	142	75	67	19	8	40	60	19	51	12	
2024年 11月	48	22	25	9	5	11	23	5	16	3	
12月	47	26	20	6	2	12	18	6	18	5	
2025年 1月	49	32	17	4	3	10	20	10	15	4	
2022年度	▲12.6	▲5.3	▲21.0	▲0.2	▲11.1	▲28.4	▲25.4	6.3	▲10.1	22.0	
2023年度	▲4.9	▲8.7	0.4	▲3.8	▲22.1	5.2	22.7	▲12.3	▲24.0	▲27.1	
2023年10-12月	▲3.6	▲3.2	▲4.1	▲11.0	▲41.5	3.6	43.2	17.9	▲33.1	▲37.1	
2024年 1- 3月	11.0	28.5	▲6.5	▲38.2	▲62.2	22.3	45.8	▲12.0	▲9.2	▲8.1	
4- 6月	16.3	31.2	▲1.0	▲14.7	44.6	0.6	12.2	25.3	25.5	▲11.6	
7- 9月	1.8	8.2	▲6.1	▲9.8	14.5	▲7.5	▲17.2	2.3	37.9	10.4	
10-12月	31.7	27.9	36.1	62.4	199.2	14.8	19.9	20.5	46.2	67.1	
2024年 11月	18.1	8.2	28.4	72.3	288.7	▲14.0	26.6	▲10.9	19.8	16.6	
12月	31.5	33.6	28.9	116.6	255.5	▲1.3	0.7	24.6	57.6	182.8	
2025年 1月	25.7	42.8	2.6	7.1	450.6	▲16.3	▲0.2	79.0	38.4	66.4	
4月からの累計	446	259	187	51	21	114	191	66	155	34	
前年同期	381	209	172	48	12	113	186	54	113	28	
増 減 量	65	50	14	4	10	1	5	12	41	6	
前年同期比	17.0	24.2	8.3	7.9	82.8	0.8	2.7	22.3	36.6	22.4	

(出所) 財務省貿易統計

〔表11〕 鋼材流通動向

市中鋼材数量調査		
販売量	在庫量	
25,673	2,118	
25,356	2,075	
6,473	2,017	
6,208	2,075	
6,247	2,122	
6,040	2,041	
-	-	
2,055	1,978	
-	-	
-	-	
▲3.9	▲80	
▲1.2	▲43	
0.1	▲36	
▲1.3	58	
▲1.4	47	
▲4.7	▲81	
-	-	
▲5.4	▲19	
-	-	
-	-	
16,446	-	
17,032	-	
▲586	-	
▲3.4	-	

(出所) 日本鉄鋼連盟

(注) 在庫は前月(期)末比

6. 鉄鋼輸出

—2月の全鉄鋼輸出(速報)は、前年同月比0.5%減の251万トンと2ヵ月連続の減少—

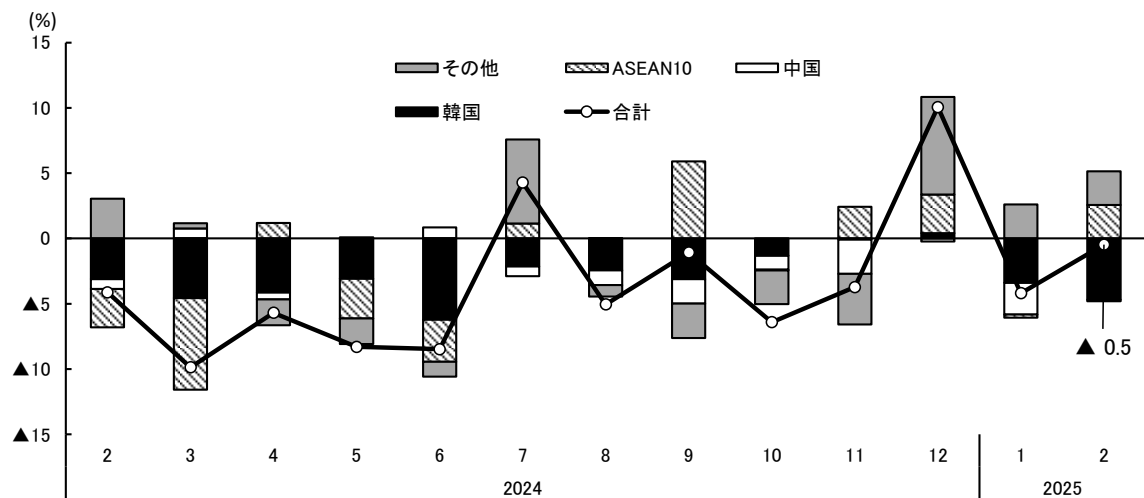
○ 2月の全鉄鋼輸出(速報)は、前年同月比0.5%減の251万トンと2ヵ月連続の減少

- ・ 仕向け先別にみると、ASEAN 向け(8.2%増・2ヵ月ぶり)が増加したものの、韓国向け(25.9%減・2ヵ月連続)、中国向け(1.4%減・8ヵ月連続)が減少した。
- ・ 2月の輸出平均単価(速報)は、全鉄鋼ベースで958ドルと5ヵ月連続の低下となった。

○ 1月の普通鋼鋼材輸出は、前年同月比0.1%増の179万トンと3ヵ月連続の増加

- ・ 品種別にみると、熱延鋼板類(6.6%減)、冷延鋼板類(0.5%減)が減少したものの、厚中板(25.7%増)、亜鉛めっき鋼板(8.0%増)がいずれも増加した。

〔図29〕全鉄鋼仕向け先別輸出推移(寄与度・前年比)

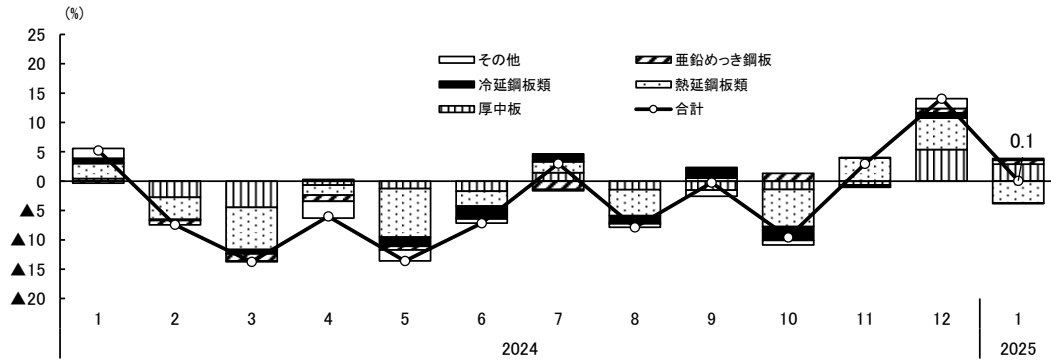


〔表12〕鉄鋼輸出総括表

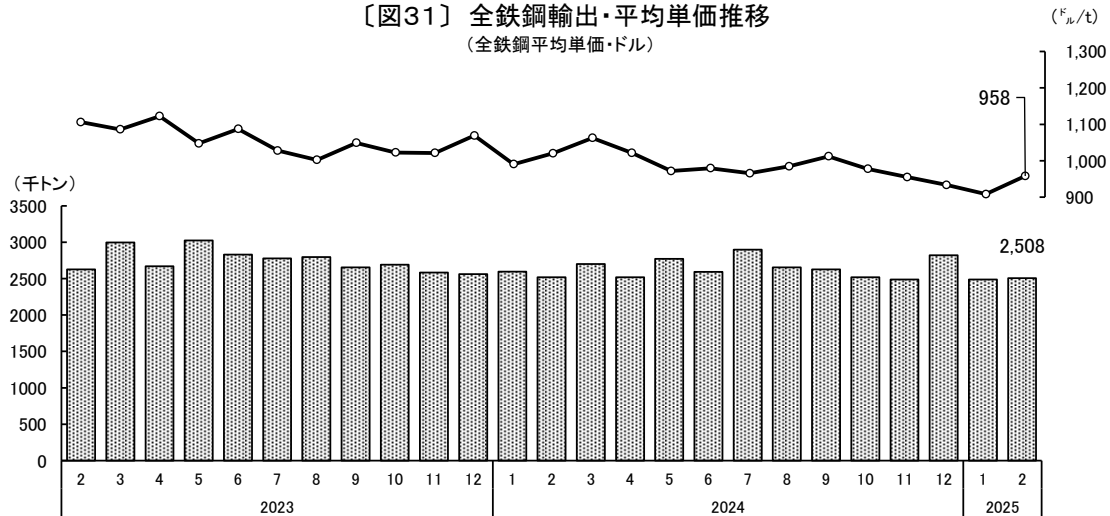
	輸 出 数 量 (千トン)				金 額 (FOB)		平 均 単 価			円／ドル 換算レイト
	全鉄鋼	銑鉄	鋼塊・半製品	鋼材	百万ドル	億円	ド ル		千円	
							全鉄鋼	鋼材	鋼材	
2023暦年	32,690	101	3,115	28,810	34,601	48,401	1,058.5	1,057.6	148.0	139.88
2024暦年	31,711	132	3,142	27,808	31,371	47,402	989.3	989.9	149.6	151.10
2023年10-12月	7,840	13	766	6,885	8,134	12,096	1,037.6	1,037.3	154.3	148.70
2024年 1- 3月	7,818	23	773	6,867	8,015	11,814	1,025.2	1,025.3	151.1	147.40
4- 6月	7,883	18	831	6,875	7,808	12,074	990.4	989.3	153.0	154.64
7- 9月	8,181	26	799	7,202	8,074	12,268	986.8	986.8	150.0	151.96
10-12月	7,829	64	738	6,864	7,474	11,246	954.7	958.0	144.2	150.46
2024年 12月	2,820	13	292	2,458	2,634	4,014	933.8	934.9	142.5	152.43
2025年 1月	2,488	6	239	2,204	2,260	3,556	908.5	908.4	142.9	157.37
P 2月	2,508	-	-	-	2,403	3,714	958.2	-	-	154.57
2023暦年	1.2	37.0	0.1	1.6	▲11.1	▲4.5	▲12.1	▲11.9	▲5.4	7.4
2024暦年	▲3.0	30.9	0.9	▲3.5	▲9.3	▲2.1	▲6.5	▲6.4	1.1	8.0
2023年10-12月	▲1.2	▲48.3	7.8	▲1.6	▲9.5	▲5.9	▲8.4	▲8.2	▲4.5	3.9
2024年 1- 3月	▲3.4	▲55.8	1.6	▲3.4	▲8.7	1.6	▲5.5	▲5.3	5.3	11.2
4- 6月	▲7.5	▲12.0	0.1	▲8.5	▲15.5	▲3.8	▲8.7	▲8.7	4.0	14.0
7- 9月	▲0.6	85.9	5.5	▲1.3	▲4.4	1.1	▲3.8	▲3.7	1.8	5.8
10-12月	▲0.1	375.3	▲3.7	▲0.3	▲8.1	▲7.0	▲8.0	▲7.6	▲6.6	1.2
2024年 12月	10.1	1,498.8	16.9	9.2	▲3.9	▲0.3	▲12.7	▲12.5	▲9.2	3.7
2025年 1月	▲4.2	108.8	▲4.3	▲4.2	▲12.2	▲4.2	▲8.3	▲8.2	0.1	9.0
2月	▲0.5	-	-	-	▲6.6	▲2.6	▲6.1	-	-	4.3
4月からの累計	28,889	114	2,607	23,144	28,018	42,858	969.9	971.6	148.5	-
前年同期	29,714	51	2,603	24,001	30,970	44,299	1,042.3	1,138.1	162.8	-
増 減 量	▲826	63	4	▲857	▲2,952	▲1,440	▲72.4	▲166.4	▲14.3	-
前年同期比	▲2.8	123.8	0.2	▲3.6	▲9.5	▲3.3	▲6.9	▲14.6	▲8.8	-

(出所) 財務省貿易統計 (注) 平均単価欄の鋼材は全鉄鋼から鉄鉄、フェロイを除いたベース。

〔図30〕 普通鋼鋼材品種別輸出推移(前年同月比寄与度・%)



〔図31〕 全鉄鋼輸出・平均単価推移
(全鉄鋼平均単価・ドル)



〔表 1 3〕 国別品種別輸出推移

	全鉄鋼計									普通鋼鋼材計				
	アジア	韓 国	中 国	ASEAN10	台 湾	インド	EU	米 国	メキシコ	厚中板	熱 延 鋼板類	冷 延 鋼板類	垂鉛め っき鋼板	
2023暦年	22,800	5,637	2,849	10,549	1,585	1,175	2,047	1,229	1,860	22,642	2,975	12,323	1,567	2,147
2024暦年	22,769	4,783	2,673	10,403	1,763	2,082	1,364	1,210	1,870	21,778	2,793	11,889	1,492	2,075
2023年10-12月	5,617	1,256	745	2,557	372	384	399	298	406	5,339	636	2,885	387	508
2024年 1- 3月	5,563	1,354	688	2,377	416	531	326	325	508	5,277	649	2,811	385	508
4- 6月	5,577	1,101	744	2,464	493	515	442	306	396	5,392	698	3,027	339	507
7- 9月	5,913	1,099	600	2,868	457	588	445	321	498	5,655	753	3,123	417	515
10-12月	5,717	1,230	641	2,694	396	448	152	258	468	5,454	692	2,928	352	544
2024年 12月	2,023	408	229	907	159	187	67	106	162	1,976	276	1,052	109	195
2025年 1月	1,683	359	154	806	140	136	64	84	150	1,785	254	949	133	161
P 2月	1,758	337	213	849	-	-	-	82	-	-	-	-	-	-
2023暦年	▲6.2	3.8	▲27.9	▲3.2	▲12.4	38.6	17.6	▲3.1	49.5	5.8	1.4	13.4	▲6.8	5.1
2024暦年	▲0.1	▲15.1	▲6.2	▲1.4	11.2	77.2	▲33.4	▲1.5	0.5	▲3.8	▲6.1	▲3.5	▲4.8	▲3.3
2023年10-12月	▲4.4	▲10.4	▲14.2	▲3.3	▲3.5	8.0	▲24.1	▲8.6	36.8	0.4	▲17.8	6.4	8.9	▲1.9
2024年 1- 3月	▲3.8	▲14.9	2.6	▲11.9	4.0	119.5	▲23.5	4.0	26.0	▲5.9	▲17.2	▲5.9	▲0.8	▲8.0
4- 6月	▲3.4	▲25.7	1.7	▲5.8	17.2	106.9	▲34.6	7.2	▲37.9	▲9.1	▲9.6	▲7.8	▲16.4	▲6.8
7- 9月	5.0	▲16.0	▲14.6	7.1	16.7	95.8	▲18.6	▲3.6	20.7	▲1.8	▲3.8	▲1.4	7.8	▲5.0
10-12月	1.8	▲2.1	▲13.9	5.3	6.4	16.8	▲62.0	▲13.4	15.1	2.2	8.8	1.5	▲9.1	7.2
2024年 12月	13.9	2.6	▲2.4	9.1	23.8	57.3	▲60.9	▲11.7	29.5	14.1	50.9	9.7	16.0	7.1
2025年 1月	▲5.7	▲19.7	▲29.0	0.8	16.9	▲8.4	▲47.2	▲18.4	▲18.3	0.1	25.7	▲6.6	▲0.5	8.0
2月	▲3.8	▲25.9	▲1.4	8.2	-	-	-	▲19.9	-	-	-	-	-	-
4月からの累計	20,648	4,125	2,352	9,681	1,487	1,687	1,102	1,051	1,512	18,287	2,398	10,027	1,240	1,728
前年同期	20,631	4,948	2,612	9,448	1,305	1,081	1,743	1,121	1,641	18,817	2,393	10,352	1,312	1,743
増 減 量	17	▲822	▲260	233	182	605	▲641	▲71	▲129	▲530	4	▲325	▲72	▲15
前年同期比	0.1	▲16.6	▲9.9	2.5	13.9	56.0	▲36.8	▲6.3	▲7.9	▲2.8	0.2	▲3.1	▲5.5	▲0.9

(出所) 財務省貿易統計

(注) アジアは中東を除く。

海外市場 -1月の粗鋼生産（世界計）は前年同月比4.4%減-

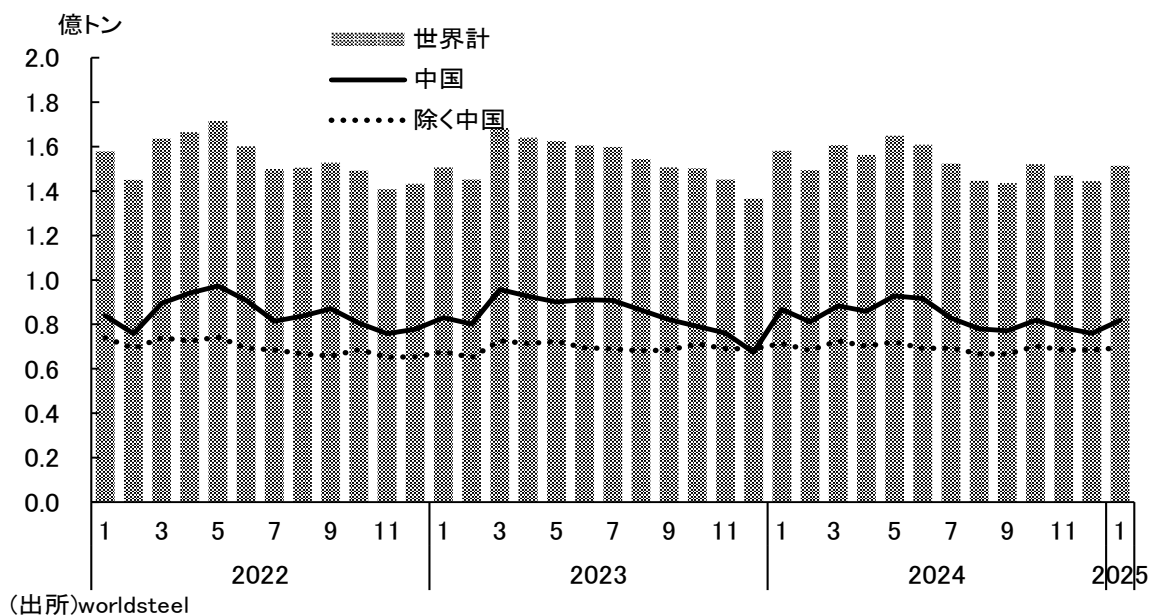
〔表1〕主要国の粗鋼生産

	2025年1月	前年同月比
日本	6.8	▲ 6.6
中国	81.9	▲ 5.6
韓国	5.2	▲ 8.8
台湾	1.7	▲ 2.5
インド	12.9	1.1
米国	6.6	1.2
ブラジル	2.8	2.4
EU27	10.3	▲ 3.3
ロシア	6.0	▲ 0.6
世界計	151.4	▲ 4.4

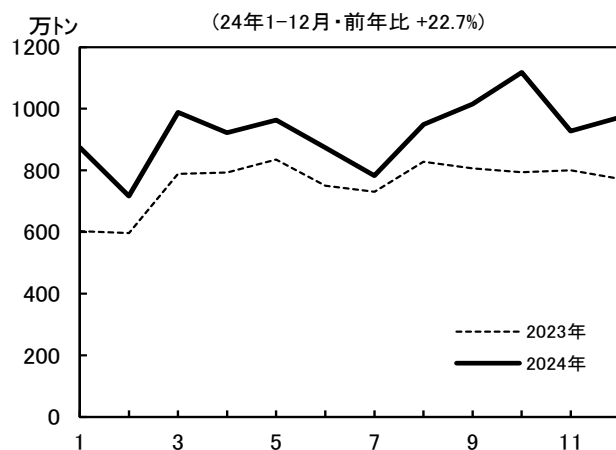
1-2月期	前年同期比
1億6,630万	▲1.5%

（出所）worldsteel等

〔図1〕世界粗鋼生産



〔図2〕中国鋼材輸出



〔図3〕熱延コイル市況推移

